

令和2年度 愛媛県がん診療連携協議会

第2回 幹事会

◇ 日時・場所 ◇

令和2年10月8日(木) メール会議
発信：四国がんセンター

◇ 議題 ◇

1. 令和2年度幹事会 名簿確認 (資料1) 2
20200423 幹事会議事録 (資料2) 4
20200808 役員会および第1回専門部会報告会議事録 (資料3) . . . 12
2. 協議会活動年間スケジュール (資料4) 23

3. 報告事項
 - 1) PDCA 部会 (資料5) 24
 - 2) がん地域連携専門部会 (資料6) 27
 - 3) 緩和ケア専門部会 (資料7) 29
 - 4) がん相談支援専門部会 (資料8) 33
 - 5) がん登録専門部会 (資料9) 49
 - 6) がんの集学的治療専門部会 (資料10) 54
 - 7) がん看護専門部会 (資料11) 60

4. 討議事項
 - 1) 緩和ケア専門部会
緩和ケア研修会 PEACE の令和3年度開催について . . . 65
 - 2) 次回専門部会報告会の予定について 66
2020年12月5日(土) 13:00~14:30 Web会議
 - 3) がんに関する冊子のお知らせ 67

令和2年度幹事会名簿

	施設名	役職名	氏名(敬称略)
地域拠点病院	愛媛県立中央病院	副院長	佐川 庸
		がん治療センター長	中西 徳彦
		総務医事課 主幹	高石 裕二
	愛媛大学医学部附属病院	肝臓・胆のう・膵臓・移植外科長	高田 泰次
		腫瘍センター長	薬師神 芳洋
		医学部医事課長	齋藤 英雄
	社会福祉法人恩賜財団 済生会今治病院	院長	松野 剛
		医療情報課課長心得	矢野 清久
	市立宇和島病院	乳腺外科科長	岡田 憲三
		医事係長	井上 悌爾
		医事課長補佐	中 一
	医療法人 住友別子病院	がんセンター長	松原 稔
		がんセンター事務担当	藤田 元司
	日本赤十字社 松山赤十字病院	副院長	西崎 隆
		第一外科部長	南 一仁
臨床腫瘍科部長		白石 猛	
がん診療推進係長		大西 麻弓	
推進病院	一般財団法人永頼会 松山市民病院	院長	柚木 茂
		地域医療連携室	三谷 直紀
	社会福祉法人恩賜財団 済生会西条病院	医療福祉センター長	長櫓 巧
		医事課長	宮竹 浩史
	独立行政法人労働者健康安全機構 愛媛労災病院	院長	宮内 文久
		医事課長	内田 賢二
	一般財団法人積善会 十全総合病院	副院長	佐々木 章公
		事務長	荒井 恒治
		医務局長	石川 正志
		事務部長	梶原 正光
	公立学校共済組合 四国中央病院	医事課長	梶原 秀志
		医療課長	川上 英二
		乳腺外科部長	小坂 泰二郎
		地域医療介護連携課主任	遠藤 健介
	社会医療法人石川記念会 HITO病院	病棟師長	青木 由美
医事課長補佐		中岡 剛志	
副院長		安岡 康夫	
事務長		林田 哲也	
市立八幡浜総合病院	副院長	武田 肇	
	医事係長	田中 昭光	
専門部会等	PDCA部会	部会長	山下 素弘
	がん地域連携専門部会	部会長	橋根 勝義
	緩和ケア専門部会	部会長	成木 勝広
	がん相談支援専門部会	部会長	灘野 成人
	がん登録専門部会	部会長	寺本 典弘
	がんの集学的治療専門部会	部会長	青儀 健二郎
	がん看護専門部会	部会長	多田 清美
その他	愛媛県	保健福祉部健康衛生局健康増進課長	菅 隆章
	一般社団法人愛媛県医師会	常任理事	窪田 理
事務局	四国がんセンター	幹事長	河村 進
		院長	谷水 正人
		事務部長	浅松 誠治

幹事会書記輪番制

1	住友別子病院
2	市立宇和島病院
3	済生会今治病院
4	松山赤十字病院
5	愛媛大学医学部附属病院
6	愛媛県立中央病院
7	松山市民病院
8	済生会西条病院
9	愛媛労災病院
10	十全総合病院
11	四国中央病院
12	HITO病院
13	済生会松山病院
14	市立八幡浜総合病院

令和2年度 愛媛県がん診療連携協議会 第1回 幹事会 議事録

開催日時：令和2年4月23日（木） 18:00～19:30

開催形式：WEB会議 四国がんセンター地域医療連携研修センター研修室①からの発信

司会進行：四国がんセンター 幹事長 河村 進

出席者：資料1「幹事会名簿」

書記：社会医療法人石川記念会 HITO 病院

議題

開会の挨拶（谷水協議会会長）

今回は新型コロナウイルスの蔓延阻止という意味でWEB会議開催となりました。今後のことを考えると、新しい会議の形態として、一足飛びに必要な会議形態が実現されるということになったという風に認識できます。新しい形で対応できるように、これから体制を整えていきたいと思っております。

1. 令和2年度幹事会 自己紹介・名簿確認（資料1）

自己紹介 WEB開催の為割愛

20190803 役員会議事録（資料2）

20191010 幹事会議事録（資料3）

2. 協議会活動 2020年度年間スケジュールと2021年度年間スケジュール案（資料4）

・令和2年8月8日の役員会、専門部会の予定だが、WEB会議にて開催予定。

それまでに、それぞれの専門部会内でWEB会議を開催し検討をしてもらう。当日は報告会の予定。連絡は後日。10月の幹事会、12月の専門部会については現段階で予測不能のため詳細不明。

愛媛大学 薬師神先生より8月の第1週内科学会開催予定8/7、8、9。8/8土曜が報告会と重なります。まだ中止のアナウンスが無いので参考まで。

・2021年度の年間スケジュール（案）について

最終決定は今年度の10月の幹事会

問題点は愛媛の外科会との調整 7月31日で依頼、役員会については8月7日。幹事会は10月7日木曜日第1候補。専門部会、報告会については12月4日土曜日第1候補。

3. 報告事項

1) 拠点病院（令和2年4月1日時点）（資料5）

令和 2 年 4 月 1 日付 全国のがん診療連携拠点病院の指定状況はがん診療連携拠点病院 402 か所、地域がん診療病院 45 か所となっている。これをみると地域がん診療拠点病院というのは 3 段階に分かれているというのが今回の特徴である。前回までは 2 つであったが特例型という拠点病院が別に指定されている。これは拠点病院の満たす機能によってそのランク付けがされた。他のところについては大きな変化はないが、地域がん診療病院の数が増えている。愛媛県において拠点病院等に変更はなし。満たす機能によって拠点病院の指定の細分化を行うという国としての方針がすすめられているというように感じ取れる。

新しくがん診療連携拠点病院のあり方に関して検討する会議がスタートする。題名は「がん診療連携拠点病院等の実態把握とがん医療提供体制における均てん化と集約化のバランスに関する研究」。会長の谷水が参加。拠点病院の要件が厳しく、実態にそぐわない部分については愛媛県の協議会の意見を届けていきたい。

2) 愛媛県健康増進課 (資料 6)

保健福祉部健康衛生局健康増進課課長 菅様

代理 白石様より

若年がん患者の在宅療養支援事業の概要について

今年度令和 2 年 4 月 1 日より施行、愛媛県内に住所を有する 20 歳以上 40 歳未満の末期のがん患者が対象。介護保険の対象外となる為、在宅で療養することが資金面において困難である。支援を行政より行う。

事業の実施主体は市町。県が市町に対し、補助金を交付。令和 2 年度は松山市、宇和島市、八幡浜市、西予市、久万高原町、松前町、鬼北町が実施予定。3 年度は全市町。サービスについては介護サービスを利用。利用料金の 9 割は行政が負担。サービスの上限 6 万円、自己負担額 6 千円。

事業のイメージは資料イメージ図参照

患者にこのようなサービスがあるということを知ってもらうことが重要。リーフレットを 5 月中に作成中。相談支援センターに配布し、各病院でも対象患者に制度の説明をお願い致します。

3) PDCA 部会 (資料 7)

PDCA 部会 青儀副部会長

具体的な臨床指標を共有し診療体制の充実を図る。臨床指標は東京大学水流研究室で行っているがん診療体制における質評価指標、国立がん研究センター東先生のがん登録を用いる質評価指標等を用いる。目標は県独自もしくは施設独自の臨床指標を設定する活動を行う。行われていなかった施設間の相互評価を簡易な形でも行っていく。また先進な PDCA 活動を行っている地方からの講師を招き、情報共有を行う。

昨年末に行った東京大学の質評価指標の集計結果資料を各施設に配布。臨床指標を用いて改善ツールを準備。それを用いて部会活動を行っていく。連携病院全体で改善ツールをもっと幅広い分野で共有したい。改善ツールを共同購入してループできる環境を整えていく。

4) がん地域連携専門部会（資料8）

がん地域連携専門部会 橋根部会長

昨年の活動報告

がん地域連携パスのアンケート結果報告（患者用）資料参照

アンケート回収率 65%

がん地域連携パスのアンケート結果報告（医療機関用・患者用）から出てきた課題としては認知度、実用性の低さ、説明方法、運用方法に検討必要。

医療機関からは報告書の扱いについて不便さを感じる。患者への指導方法、説明方法の工夫が必要。更に連携の推進にむけ、部会が中心となりがん地域連携クリティカルパスの運用に取り組んでいく必要がある。

地域連携室の取り組み報告

四国がんセンターより報告、今回は愛媛大学医学部附属病院と松山赤十字病院

地域医療連携ネットワークシステムについて各施設からの概要報告

現状は各施設で推し進める。ネットワークは愛媛県医師会が既に整備している回線を利用。病院毎で使っているシステムが異なるので当面統一化は難しい。基本的に普及活動やアフターフォローは各病院で、専門部会の役割としては、システム担当者間の情報共有を行うことについて、取り組んだ。

今年度の活動予定

地域医療連携ネットワークシステムの推進、各病院でネットワークシステムの普及に努め、部会の立ち位置としてはその状況の把握に努める。

連携室の活動報告、連携パスの使用推進、かかりつけ医の促進。

事務局の設置、全体の統一化を図る。（地域医療連携ネットワークシステム）

県医師会の連携ネットワークシステムの説明会を令和2年2月22日の予定であったが延期。予定を立てる事が出来ない状況。病院間の連携は取れているが開業医の電子カルテも進んできている。画像の転送もおこなうことができる。病診連携室サーバーに接続できるようにお願いしたい。

5) 緩和ケア専門部会（資料 9）

緩和ケア専門部会 成本部会長

PEACE の研修会の開催について

厚生労働省健康局より

コロナウイルスの関係で研修会が延期、又は中止となっている。拠点病院の要件である研修会の開催については事情を考慮して判断することとなっている。

愛媛県の現状

3月～6月開催延期 7月～8月開催分についてはまだ検討に至っていない。

開催延期とはなっているが実際には中止とならざるを得ない。

愛媛大学や県立中央病院では院内の参加者が 9 割。加算の関係もあるので実施する可能性もあり。

報告事項

緩和ケア専門部会議事録参照

緩和ケア専門部会としても PDCA 活動に参加。

グループワークを行い実際の活動状況や問題点について討議を行った。

グループワークの内容については資料を参照。

各施設の活動計画目標を立て活動を行う。

7月 専門部会で中間報告を行いグループワーク、情報共有を図る。

12月 専門部会にて活動発表を行う。

愛媛大学より

現実的に PEACE 研修会はできないであろう。厚労省からの通知も判断しかねる、配慮するがまだ決定ではない。各拠点病院も更新にかかることなので簡単に中止には踏み切れない。愛媛県の会議にて声明を発表する、拠点病院全体で交渉するとしたほうが中止の決定がしやすいのではないか。

研修を受ける側の配慮も必要になってくる。Eラーニングを受けることにより資格の延長ができることのアナウンスをするべきである。

がん治療認定医の更新が緩和ケア研修を受けられないことを認定機構が配慮してくれるのか？

Eラーニングの有効期間の延長するようになっている。

現在のところ、Eラーニング修了書の有効期間は 2 年となっている。それを延長するかどうかの決定は、緩和医療学会や厚生労働省からは公表されていない。

認定の件については個別の学会で議論をしていただかないと緩和医療学会としては決定できない。

谷水協議会会長より

愛媛県がん診療連携協議会の決定事項として、今年中止を決めたいと県を通して厚労省に交渉する。愛媛県の協議会の総意として中止の声明を挙げます。

6) がん相談支援専門部会 (資料 10)

がん相談支援専門部会 灘野部会長

①がん相談支援専門部会議事録参照

報告事項

各ワーキンググループより報告

災害時の連絡シュミレーションを行った。

がんサポートサイトえひめの広報と活用について意見交換

出張相談を令和元年 11 月 16 日、17 日開催。

チェックリストワーキングより、PDCA サイクルを回し、チェックリストを作成し業務内容のチェックを行っている。

②今年度の予定

3 月 7 日予定のフォーラムは中止。今年度後半で開催したい。

6 月の相談員の研修会も延期、現状では開催未定。QA 研修を 11 月 14 日に実施予定。

11 月 8 日愛媛県立図書館との共同企画として図書館での出張相談。

令和 3 年 3 月新居浜市の共催イベントでの出張相談。

③災害時のがん患者の受け入れ態勢調査を 11 月に行い、連絡網を作成した。

コロナウイルス感染拡大にともない、相談部会内での情報共有のため、連絡網の再確認と新しい調査票を作成した。相談員の中だけの情報共有なので全体を公表する予定はなし。各病院の相談員が情報共有しているので、聞けば他院の情報を得ることができる。

7) がん登録専門部会 (資料 11)

がん登録専門部会 寺本部会長

「がん登録で見る愛媛のがん診療」冊子完成いたしました。

多めにほしい方はお申し出ください。

報告事項

がん登録専門部会議事録参照

全国がん登録の届出状況。概ね去年と変わりなし。

全国がん登録研修会

令和元年 9 月 2 回開催。本年度もコロナの状況をみつつ、開催を検討する予定である。

ファシリテータのご協力お願い致します。

5 大がん登録講座は WEB 開催を視野に入れている。

今年の 3 月 5 月予定であった実務者研修会は中止。今後の開催については検討中。毎年 6

月に行っている日本がん登録協議会の学術集会で愛媛県の院内がん登録の研修会を全国
のモデルとして発表する予定であったが WEB 開催となった。

提案事項として実務者の名簿作成したい。研修等で利用し、各病院のがん登録の状況を
把握するのに使用することに承認をお願いします。

各病院の管理者にあたっては、院内がん登録の増加を目標にあげて登録士を圧迫する、
あるいは鼓舞することはお避け下さい。

がんサポートサイトえひめ

病気を知る 5大がん、AYA 世代、原発不明がん 公開済

あなたを支える 暮らしを支える、相談支援等 公開済

広報 全国がん登録研修会 リーフレット

今後の予定

2019 年施設データ 4月公開済み

全件版 夏ごろ公開を目指す。

臓器充実をはかる

病気を知る 子宮頸部：愛大 原稿受領済み添削中 前立腺：愛大依頼済 膵臓：日赤
東予の病院：臓器の担当を募集

内容検討、がん患者に対するコロナ情報を更新

愛媛県がん診療連携協議会のホームページについて

サーバーの有効期限が今年 10 月に期限が切れる。新しいサーバーに移行する機会に
内容の更新を行う。大きな変更点としては PDCA 部会を追加。

ホームページの内容について意見があれば寺本まで

8) がんの集学的治療専門部会（資料 12）

がんの集学的治療専門部会 青儀部会長より

薬薬連携については将来的に薬剤師からの情報提供が医療の中で非常に重要になってく
る。薬剤師にある程度責任を持たされる可能性がある。このところは重要な課題である。
ゲノム情報を用いたスクリーニングシステム、県内でも遺伝子パネル検査ができるよう
になり、各施設間での情報の共有がより重要になってくる。

HD 暴露対策を県全体で推進する。CSTD によるコアリングの調査を行い、最終的な解析
を CSTD の会社に対してコアリングの改善を求める為のデータにしたいと考えている。
がん就労支援については他の部会と重複するところはあるが、令和 2 年 1 月に国立がん
センターの高橋先生をお呼びし、アクションチェックリストを検討するセミナーを開催
した。

SCRUM JAPAN 愛媛連携の現状 がん遺伝子パネル検査の保険承認に伴い、リキッドバ
イオプシーによるスクリーニングを開始。がん種問わず、保険のパネル検査で変異がある

症例を対象にリキッドバイオプシー研究に参加可能。FGFR 遺伝子異常、HER2 遺伝子異常、TMB-H, MET 遺伝子異常の医師主導治験が進行中。連携プロトコールが 2019 年 12 月に中央事務局で承認。四国がんセンターでのプロトコール倫理審査準備中。今後、愛媛の連携病院に相談する。

AYA 世代対応ネットワーク、妊孕性ネットワークの今後の展開
県全体のシステムの構築、情報共有、経験値の向上を目指す。

課題は AYA：就労支援、長期フォローアップ、妊孕性：より確実な方法、患者への情報公開が重要になってくることが分かった。

9) がん看護専門部会（資料 13）

がん看護専門部会 多田部会長より

昨年度の活動報告

がん看護実践能力向上研修会 1 件、トピックス研修 3 件・スポット研修 1 件を予定していたが、トピックス研修 2 件 コロナウイルスの影響で中止。

がん看護実践能力向上研修会の費用については二万円から三万円に変更。経緯としては 2019 年度研修生 14 名で予定していたが、実際は 5 名。長期間の日程である為に参加が困難。ただし研修の目的、意義、充実した研修内容を鑑み、研修の継続、多少の値上げをしても続けていかなければならないという結論に達し、部会員一致で三万円に値上げで賛同を得た。人数に関しても少なくとも 10 名の参加を確保する。

トピックス研修については、がん看護研修の実施状況とニーズ調査結果より、ニーズの高い研修として高齢者、認知症、終末期の摂食嚥下、口腔ケア、人生の看取りの最後の家族ケア、終末期などの時期やライフサイクルに応じた研修のニーズが非常に高かった。これらを参考に今年度の 2 つの研修を立案した。

コロナウイルスの影響により 8 月より開催の能力向上研修については集合での開催は困難と考え、研修方法について今後検討する。トピックス研修についても同様の検討を行う。

本研修の費用並びに研修の開催方法についての審議

特に意見なし。費用の負担についてはご理解をお願い致します。

研修開催方法については難しい問題。意見があれば参考とさせていただきますのでメールでも結構ですので何かご意見をよろしくお願い致します。

能力向上研修は WEB 開催、若しくは規模を縮小、何らかの方法での開催を検討したい。

4. 討議事項

各専門部会報告内で討議済み

- 1) 連携ネットワークシステムについて (資料 14)
- 2) 緩和ケア専門部会 緩和ケア研修会 PEACE の延期について
- 3) がん看護専門部会 40 日間研修の研修の費用改訂について
- 4) ホームページの改訂について

最後に、

専門部会の組織に変更あり。副部長に数名ずつ追加をし、各部会が活性化できるよう検討中。決定すれば発信し意見をいただきたい。

谷水協議会会長より

このような形での開催となりましたが、各部会からの報告と有益な情報共有はある程度達成できたのではないかと認識しております。また議事録だけでなく資料も情報共有ができるような形でしっかり協議会としての記録として残していきたいと思います。不慣れな点があり一部不手際もありましたが、こういった形での会議というのがこれからの未来の形を作っていくかなと思いつつ参加いたしました。まだ8月はおそらくこの形、10月はどうかわかりませんが1年間ぐらいはWEB開催になる予感はしております。この会議形態をブラッシュアップさせていきながらきちんとした情報共有ができるように努めていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

令和2年度 愛媛県がん診療連携協議会役員会および第1回専門部会報告会 議事録

開催日時：令和2年8月8日（土）13：00～14：30

開催方法：Web会議 四国がんセンターカンファレンス室からの発信

司会進行：協議会幹事長 四国がんセンター 河村 進

出席者：別紙資料1「役員会名簿」

議題

開会の挨拶＜谷水協議会会長＞

がん診療連携協議会も今年で12年目となります。拠点病院、推進病院の皆様をはじめとする関係者の皆様のご尽力により、愛媛県のがん診療の発展に多大な貢献を果たしてきたと思っております。コロナ禍のため、例年なら7月に東京で開催される都道府県がん診療連携協議会が開催されておられませんので、全国の状況をお伝えすることができないこと、また、緩和ケア研修会（PEACE）が延期になっていることなどいくつかの問題も生じておりますが、このコロナ禍の中でも、新しい形態で愛媛県がん診療連携協議会の役員会が開催出来るということは、地の利を乗り越えた、また、時代の進歩と考えられるのではないかと思います。

本日も実りある討論を期待しております。よろしくお願いいたします。

1. 令和2年度役員自己紹介（資料1 P.2 参照）

役員変更 愛媛県立中央病院 西村誠明先生より菅政治先生

松山市民病院 山本祐司先生より柚木茂先生

市立八幡浜総合病院 上村重喜先生より大蔵隆文先生

愛媛県病院薬剤師会会長 田中守先生より浅川隆重先生

（済生会西条病院 薬剤長）

2. 協議事項について

1) 次年度スケジュール案（資料3）

・今年度中の開催協議会について

9/29（火）第2回がん看護専門部会

10/8（木）第2回幹事会

12/5（土）第2回専門部会及び報告会

これらの会議についても、現在のコロナ感染症の影響による状況から、おそらくWeb会議形式での開催となる。

・次年度の協議会スケジュールについて

2021年度の役員会・幹事会・専門部会の日程について、事前に4/23におこなわれた令和2年度第1回幹事会で検討していた内容について提示した。

《異議なし》

2) ホームページの改訂について（資料なし）

今年11月に、契約更新による業者の入れ替わりがある。

現在のホームページデザインから、全体の見た目に関しては特に大きな変更はないが、各部会等で変更案があるところについては、この業者入れ替わりの機会に伴い、作業対応中である。役員の先生方からも何かあればご提案下さい。

3) 組織図（改定案）について（資料2）

PDCA部会と専門部会のツリーの下にある各専門部会において、できるだけ活動を活発にするために、副部会長を、部会長が考えて指名し検討している。それぞれの専門部会で数名ずつとなっており毎年少しずつ変わっていくので、各施設からも専門部会の活動に活発に参加して頂ける先生、担当の方がいらっしゃいましたら、ご連絡をお願いします。

4) 令和元年度役員会議事録（R1/8/3 四国がんセンターにて開催）（資料4）

令和2年度第1回幹事会議事録（R2/4/23 四国がんセンターにて開催）（資料5）
議事録資料について、不明な点や疑義がありましたら、お知らせ下さい。

4) 愛媛県より

保健福祉部医療政策監 河野 様

第3期愛媛県がん対策推進計画中間評価について、ご協力をお願い。

・愛媛県では、平成30年3月に策定した第3期がん対策推進計画による取り組みをおこなっている。計画では、目標の達成状況の把握や進捗管理のために3年を目途に中間評価をおこなうこととしており、今年度が3年目である。

・事務局から全体目標の進捗状況と各分野の個別施策の進捗状況を案としてお示しする。指標は9月中を目途にがん対策推進委員会委員のご意見をお聞きし確定、指標に基づいて中間評価案を作成し改めて委員会のご意見をお聞きし、年度内に中間評価として提示したい。

・個別施策の進捗状況については、拠点病院、推進病院の現況報告書、各病院での取り組み状況、協議会、専門部会の取り組み状況等、を指標としたい

と考えている。協議会、専門部会の皆様には個別施策の案として記載している内容についてご確認頂きご意見を、また、各専門部会の取り組みの状況についてお教え頂きたいので、ご協力をお願いします。

<谷水協議会会長>

愛媛県のがん対策推進委員を担当しているが、中間評価に関して、相談支援部会、緩和ケア部会の領域の調査を既にお願している。部会長より、ほとんどの施設から回答を得て進んでいると聞いているが、再調査等にはご協力をお願いします。この協議会の活動が愛媛県のがん対策推進委員会の活動の中でも大変重要な部分を占めているので、よろしくお願い致します。

5) 各専門部会からの報告

1. PDCA 部会

- ・四国がんセンターの山下を部会長、青儀・寺本を副部会長として組織し、2年前に活動を始めた。Plan→Do→Check→Act 活動を推進することにより医療体制の改善を図るという部門で、具体的な臨床指標等を共有し、お互いに切磋琢磨していく。

- ・PDCA 部会では、指標等を利用して皆でアウトカムを共有し、質の向上を目指す活動をおこなうことにより、愛媛県全体の診療体制整備をすすめていく。また、独自の臨床指標をもって皆で共有していけるとよい。

- ・PDCA 部会は横断的な部門である。各専門部会における PDCA 活動の促進についても働きかけを進めていきたい。

- ・日常業務の忙しさやマンパワーの問題、関心の度合いなど様々な理由が挙げられるが、PDCA 部会の活動の理解についても共有していきたい。

- ・相互訪問調査は昨今の事情を鑑み、Web でおこなうことも考えている。

- ・東京大学の水波研究室でおこなっている臨床指標評価は数年前から毎年愛媛県の各施設にご依頼して参加頂いており、昨年度は11施設のご参加であった。調査では、各施設毎にスコア化されたデータが返ってくる。適合率(理想とする体制に整備されているか、運用が出来ているか)などについて確認をおこなっているが、だんだんと体制整備が出来てスコアが右肩上がりになっていくという理想をもって実施している。総合評価を見ても、愛媛県の診療体制整備は徐々に進んでいることがわかる。水波研究室から提供して頂ける質の改善ツールは愛媛県で共同購入しているが、予算が確保できたので、昨年度から大腸がんに加えて胃がんも追加した。改善ツールの使い方についても、共有改善していきたい。

- ・今年度のタイムスケジュールについて 6/26 に開催された第1回専門部会で検討をおこなった。具体的な課題として、

1 同意説明文書の改善

2 診療ガイドラインの共有

3 外来での患者の情報共有

等についての改善について活動をすすめ、10月頃に中間報告会を開催する。

- ・12月には、活動報告をもって皆様と情報共有できればよいと考えている。

《質問特になし》

2. がん地域連携専門部会

- ・第1回専門部会は6/24に15病院の参加によって開催した。

・コロナ感染症の対応について 連携室の視点での反省や対策についての情報共有をおこなった。各施設で様々な取り組みをおこなっていたが、FAX紹介のときなどはその状況を書いてもらうという施設が多くあった。あらかじめ地域の病院にアナウンスした、という施設もみられた。オンライン診療については、電話での再診は多くの施設でおこなわれていたが、テレビを使ったオンライン診療はほとんどされていなかった。検討事項として、処方については多くの施設でされていたので、今後感染が拡大してきた場合には、そういったことを連携部門から案内してはどうか。地域連携パスを利用している患者さんに関しては、状態によっては受診間隔について検討したりというような案内をしてもいいのでは。また、各施設でいろいろな取り組みをおこなっているが、統一されたものについては当専門部会で作成するのが良いか、といった意見があった。このような点については今後検討していきたい。

・地域医療ネットワークシステムについて 市立宇和島病院、松山赤十字病院、愛媛大学など、進んで実施している病院さんからは、特に大きな問題はないとの報告であった。四国がんセンターも始めたが、マンパワーの必要性について感じている。今後、多くの施設に導入が進んできた時に、各施設で使用しているシステムがそれぞれ異なっていることは検討課題であるが、現状ではこのまま利用者を広げていく。

・地域連携パスについて 臓器毎に使えるようにはなっているが、使われていない状況も多くみられるので、どのようにすれば普及できるか、について検討した。取り組みの一例として、訪問したときにあわせてパスの説明するなどの工夫が紹介された。昨年、パスの使用についての患者さんおよび医療機関へのアンケートを実施したが、概ね良好という結果が得られたので、今後はパスの使用についても推進していきたい。

- ・かかりつけ医の取り組みについて 各施設の情報を共有し、今後広げていきたい。

《質問特になし》

3. 緩和ケア専門部会

・緩和ケア専門部会は、拠点病院、推進病院に緩和ケア病棟を有する病院が加わるので、全部で17施設の参加がある。7/16に14施設が参加してWeb形式で専門部会

を開催した。

・昨年度、部会で PDCA サイクルについての活動をおこなうという予定をたてた。A グループ；拠点病院、B グループ；推進病院、C グループ；緩和ケア病棟を有する病院、にグループ分けをして A グループでは①チームのカンファレンスの持ち方、②苦痛のスクリーニングからの対象患者の抽出と対応、③ACP の定着への取り組み、B グループでは①院内での緩和ケアチームの認知度向上の取り組み、②緩和ケアチームの質の向上の取り組み、C グループでは①認知症患者への取り組み、のテーマから、当初は各グループでテーマを絞っておこなう予定であったが、なかなか絞りきれなかったため、各施設でそれぞれ活動をおこなうように変更した。今回の専門部会ではその PDCA の取り組みについての中間報告をおこなった。各施設の状況では、ACP については、スクリーニングシートの運用を開始している施設がみられた。緩和ケアチームの認知、質の向上、では、なかなか指標になるものがはっきりしておらず、現在は診療科からの依頼数とか症例数などが目安になるかといった意見があるが、どういったものが指標になるのか部会で検討していただけたらよい。認知症患者についての取り組みでは、ACP を含めた意思決定支援についての取り組みで、他の施設で参考にできることはないかという問いかけには特に意見がなかった。今後については、12月の専門部会で最終報告をおこない、全体で情報共有を図る。

・コロナ禍のためカンファレンス、勉強会等がおこなわれていない状況が続いているが、今後に期待したい。

Q1. PEACE についてはどのようにするのか。研修医に研修を受けさせなくてはならないと思う。

A1. 開催してはいけないということではなく、各施設で対応して頂くことも可能である。

Q2. 施設独自でやるというものもあるかもしれないが、やはり愛媛県全体として考えないといけないのではないか。

A2. 独自で研修をやっているところもあるが、カリキュラム自体が変更できないものであったので、Web での開催にすることは認められないようである。

Q3. 来年どのようにしたら良いか、全国で決めてもらってはどうか。

A3. 厚労省のがん対策室の方にもお聞きしたが、厚労省側からメッセージを出して欲しいという各拠点病院から要望がかなり沢山届いていることについては承知している、というようなお返事であった。国のがん対策推進委員会が決めることなので、厚労省からメッセージを出すというのもなかなか難しいようであった。ただ、厚労省としては、拠点病院の更新については配慮をするというようなお話であった。私見ではあるが、将来的には、ZOOM 等の Web 会議ではグループワークも出来るので、そういったものを利用するようなカリキュラムが出来るのではないかと思う。現

状では、Web形式が認められないという状況では、しばらくは静観するしかないのではないか。

A4. なんとか、e-learning 等でも良いので、研修医が学べる体制が早く整って欲しいと思う。

Q5. 拠点病院の更新には、PEACE の実施は今年の申請には影響しないという判断でよいのか。

A5. 今年は更新年ではないので、大丈夫です。

4. がん相談支援専門部会

- ・7/9に14病院で専門部会をWeb開催した。
- ・専門部会の活動が活発になってきたので、目的・活動方針を改訂し提案をおこなった。また、実務者代表2名を設置、副部会長2名を追加した。
- ・災害ワーキングを昨年新しく設置した。4/9に第2回の災害連絡シミュレーションをおこなった。これは、4月に入って人事異動があるため連絡網の再確認としておこなった。4/22にはコロナの対応状況についても調査をおこなった。結果を報告し今後の活動案の提案やサブリーダーについての議論をおこなった。
- ・一昨年から相談支援部門の四国4県でおこなっている地域相談支援フォーラムを3/7に予定していたが、コロナの影響で中止となった。今年度は高知の予定であったが、来年に延期となった。来年度は徳島の予定であるが、今後については未定である。
- ・都道府県がん診療連携連絡協議会の相談支援部会は6/5にオンライン配信となり、その情報についての共有をおこなった。内容は「がんと共生のあり方に関する検討会」における議論について、小児がん連携病院と小児がん医療連携について、「がん総合相談に携わる者に対する研修事業」について。
- ・各ワーキンググループからの報告について 〈1〉がん相談員研修ワーキング；コロナの影響で研修が中止になっている。11/14にQA研修を国立がん研究センターの協力で愛媛県主催によるオンライン研修でおこなう。国立がんセンターの研修が全てオンライン研修になっているので、情報提供をして、受講するように指導している。〈2〉広報活動ワーキング；11/8に読書週間に合わせて県立図書館との共同企画として、県立図書館での出張相談を予定している。来年の3/14に住友別子病院と新居浜市が共催イベントをおこなうことが決まっており、そこでの出張相談を予定している。〈3〉チェックリストワーキング；PDCAサイクルを回すということで4年前からチェックリストを利用して活動している。今年も例年通りチェックリストの作成をおこなって整理と見直しをおこなう。先に愛媛県から報告があったが、愛媛県がん相談支援推進協議会から、第3期計画の中間評価にチェックリストを利用できないか、という提案があり、当専門部会が協力するというので、各病院の相談員に

協力依頼をおこなっている。〈4〉サロン担当者交流会ワーキング；一目でわかるサロン開催カレンダーを作成しているが、コロナの影響でサロンが中止になっているので、一覧のみにして中止であるかどうかなどの詳細については各病院に問い合わせをして頂くこととしている。

- ・がんサポートサイトえひめについて 現状の報告および活動の推進について皆さんにお願いしている。(詳細についてはがん登録専門部会から報告。)
- ・愛媛県健康増進課より「若年がん患者在宅療養支援事業」についての紹介があった。今年度は5市町で事業開始、今後拡大予定。
- ・愛媛県産業保健総合支援センターから両立支援活動についての紹介があった。
- ・ハローワークと産保センターによる出張相談(就労支援)が愛媛県内で広がっており、活動している病院から、現状についての報告があった。

《質問特になし》

5. がん登録専門部会

- ・コロナ禍で関係の研修会等が中止になり制限を受けたが、日本がん登録協議会学術集会の1セッションはWeb形式で四国がんセンターから発信して開催し、全国で評価を得た。
- ・専門部会は事前に2回のWeb会議をおこない内容を整理したうえで7/21に開催した。準備を綿密におこなったので短時間でスムーズに会議が終了したが、Web形式に慣れない人には十分にicebreakをとる等をおこなわないと発言しにくい、ということがわかった。今後改善していく。
- ・愛媛県の場合、がん登録の実務にはそれほど影響を受けていないが、国立がん研究センター(東京)などは業務がストップしていたので、各種がん登録データ提出期限にかなり変化があった。専門部会内では、国立がん研究センターから届く提出期間の変更等情報について周知をおこなった。・QI研究の登録については、未定となっている。
- ・国立がん研究センターが提供する認定試験と研修は全てWeb形式となった。これらについても周知をおこなった。
- ・愛媛県の5大がん登録講座などの研修会については、Web形式での開催を検討中。
- ・いろいろな場面でWeb形式が広がったことで、新しい形の研修会が提案されている。例えばWeb上で座談会形式を導入して勉強してはどうか、Moodleを使って過去問を公開する、他組織から提供されるe-learningを、Web会議形式で閲覧して皆で討論したり質問を受け付けながら見る、など。コロナ禍が過ぎても、このような形式で研修会がおこなわれるかもしれない。
- ・院内がん登録の体制は専門部会で把握するという規程に沿って、施設別プロフィールシートを作成し管理を開始する。体制整備が不備の施設には、サポートをおこな

うということも検討している。来年の幹事会では体制を紹介することができる予定である。

- ・例年9月頃に報告される都道府県別・施設別生存率の報告について、4/23の幹事会でもお知らせをしているが、2012年でUICC TMN 7thに変更しているため、今回に限り施設別の2年分まとめて報告することができない。都道府県別の報告書のみとなる。この報告書に対する愛媛県のコメントを専門部会で作成し、皆さんにお知らせする予定である。

- ・前回から、愛媛県内の全ての市町村が、生存／死亡の情報を全ての拠点病院に返してくれることになった。これにより全国の都道府県拠点病院の生存率調査に参加している施設（愛媛県においては全ての施設）がデータに採用される。他県では、把握できていない施設もみられるが、愛媛県では98%程度の生存／死亡が確認できている。

- ・「がん登録で見る愛媛県のがん診療 2020」を4月に刊行した。全県版はもうすぐホームページ上に公開予定。来年版に向けて内容検討予定で、2～3年で、完全に改訂する。

- ・がん登録専門部会のPDCAは、院内がん登録規程を全施設集めて規程の内容についての改善をおこなう。10月か11月にWeb会議（またはメール会議）を開催し、各病院をサポートして規程を整備していく。

- ・がんサポートサイトえひめ 8/7時点で今年度の内容に更新済みで、近日中に、院内がん登録のデータを2018年のデータに更新予定。子宮頸がんに関しても、原稿ができたので、確認ののち公開する。他の項目についても作成者に依頼し更新対応する。サイトアクセス数について、2019年11月に愛媛県の計らいでテレビ放映された年には2,000件を超えたが、現在は1,000件程度なので、広報の必要性を感じている。新たにがんになった方への情報提供を目的としているが、それを必要としている患者さんが1月あたり600～700人あたりはいると思われる。もう少しアクセス数を増やしたい。

Q1. Moodleとは具体的には何か。

A1. 教育用のソフトで、四国がんセンターの教育研修部で対応している。設問はがん登録専門部会で作成し、Moodleへの組み込みを、教育研修部からの指導を受け当専門部会の山下夏美が共同で作成している。

6. がんの集学的治療専門部会

1) 薬薬連携、愛媛県がん診療連携協議会後援会議

- ・10年前におこなった薬薬連携の実態調査について再調査の準備をおこなっている。当院IRBで承認後各施設に調査依頼予定。ご協力をお願いします。

- ・5月に薬薬連携セミナーを実施した。
 - ・薬薬連携システムの構築について 日赤の村上先生を中心にパイロットスタディが進行中。医療者側から薬局に依頼書を提供し服薬指導報告書を返してもらうといった連携をおこなう。パイロットスタディが順調に進めば、愛媛県全体に広げていきたい。国も薬局による薬物療法の副作用報告というのは重要視されているので、それにこたえられるシステムの構築が期待される。
- 2) ゲノム情報を用いたスクリーニングシステム (SCRUM-JAPAN)
- ・愛媛県でもがんゲノム外来、エキスパートパネル会議が利用できる体制が整ってきた。以前よりパラフィンブロックからの遺伝子検査はできるようになっているが、血液検体からも遺伝子検査が出来るような体制が臨床試験で整備されてきている。また、医師主導治験が主ではあるが、FGFR 遺伝子異常を中心に、検査の結果が合致すれば利用できる体制も整ってきている。愛媛県内のどこでも遺伝子治療が利用できるような体制整備を目指している。
- 3) HD 曝露対策、CSTD によるコアリングの調査
- ・HD 曝露対策について スタッフの抗がん剤曝露状況についての調査を2年前から継続している。曝露する場所がわかってきたので、対策として、閉鎖経路を使用する、手袋やガウンなどで自身を守る、などの体制づくりをおこなっていく。また、対策をおこなってもコントロールが難しい場所についてもわかってきたので、そのような場合には、安全な解毒剤を使用できないか、という調査をおこなっている。解毒剤の使い方について再調査中。医療スタッフの安全性を守るため、継続していきたい。
 - ・CSTD コアリングについて (愛媛大学 済川先生、薬師神先生) 今後コアリングの際の異物の内容確認、解析追加、データノイズの修正検討をおこなう。メーカーに情報提供できるか検討中。
- 4) がん就労支援、AYA 世代対応ネットワーク・妊孕性ネットワーク構築
- ・愛媛大学の杉山先生、県立中央病院の石田先生を中心におこなわれており、第3期がん対策推進基本計画にも掲げられているように重要なテーマである。
 - ・情報共有をおこない愛媛県内のどこからでもアプローチできる体制づくりを目指している。サバイバーシップの保持につながる。
 - ・課題について AYA 世代は就労支援、長期フォローアップ。妊孕性温存については、より確実な方法、紹介(アクセス)の方法、情報公開の体制づくり、などが挙げられる。
 - ・現在はコロナで研究会が開催が出来ていないが、できるだけ早く県全体のバックアップできるシステムを構築していきたい。
- 5) 放射線科紹介システムの構築 (愛媛大学 薬師神先生よりご提案)
- ・放射線の診断・治療をスムーズに地域でお互いに紹介し合うようなことが出来ない

か。今後検討をおこなっていく。

Q1. 解毒剤の散布とは、具体的にはどのようにおこなわれるのか

A1. 既に解毒目的で食品などに使用されている人体にほとんど影響のない次亜塩素酸による薬剤を抗がん剤に散布すると無毒なものに変えられる。

Q2. 次亜塩素酸には問題はないのか。

A2. 次亜塩素酸は濃度が問題なので、今回使用しているものは問題のないものである。

7. がん看護専門部会

・愛媛県内におけるがん看護に関わる看護師の資質向上と、がん看護実践レベルの均てん化を図ることを目的として活動している。メンバーは拠点病院、推進病院の看護管理者の方、専門看護師、認定看護師、その他。

・研修を、がん看護実践能力向上を目指した研修、トピックス研修、スポット研修の3つのカテゴリで実施している。2019年度はがん看護実践能力向上研修会、トピックス研修、スポット研修を計画していたが、コロナ感染症の影響でトピックス研修3件のうち2件は中止となり、「がんゲノム医療とがんの遺伝」についてのみ実施した。

・研修計画の参考のため、昨年11月に、県内の病院、訪問看護ステーションさんをはじめとして、ニーズ調査をさせて頂いた。結果、101のご施設からそれぞれの施設の研修の開催状況と必要性（ニーズ）について回答を得ている。開催状況について多かったのは①がんにより人生の最期を迎える本人家族への支援、②抗がん剤の副作用対策、③ストーマケア。ニーズについて高かったのは①本人と家族への支援、②終末期の摂食・嚥下、③高齢者のがん治療について、④終末期の誤嚥性肺炎と口腔ケア、⑤家族・医療者へのグリーフケア、⑥認知症をもつがん患者の意思決定支援。

・ニーズ調査の結果をもとに今年度の研修予定を、能力向上研修、高齢者のがん治療と看護、認知症を持つがん患者の意思決定、ターミナル期の口腔ケアと計画したが、コロナの影響で中止にせざるを得なくなった。しかしながら、ターミナル期の口腔ケアのニーズが非常に高く、かつ昨年度実施できていなかったということから、今年度Web形式で、トピックス研修として開催する。講師は当院の摂食・嚥下認定看護師が、実技を踏まえての講義を実施する。身近な問題から、皆様のお役に立てればと思います。

・第1回目のがん看護専門部会は9/29に予定している。

《質問特になし》

◇全体を通しての質問

Q1. 市民公開講座について、拠点病院の必要要件であると思うが、開催はどうである

うか。予定していたものが中止となって 9 月には出来ようかと思うが、よくわからない。

A1. 難しそうですね。

Q2. 講堂を使えば、それほど密にはならないかと思うが、200 人ぐらいの会場で 50 人ぐらいの参加ならできるかとは思いますが、どうしたらいいのか。

A2. 例えば、松山市医師会などでは 200 人規模の会場で 3 密を避けて、こういう形ではできるといふ準備はしているが、実際には行われていない。最近もまた拡大してきているので市民向けというのはなかなか難しいのではないかと。しかしながら、市民向けの医療機関からの情報提供の形については、別のことを考えないといけないのではないかと。例えば無観客で講演会をおこない、CATV で流してもらうとかいう方法はどうか、というも松山市では意見が出たりもしているが、それはひとつの方法である。何らかの形で、市民の方が置き去りにならないような方法を皆で知恵を絞って考えませんか。

<患者会から> 是非市民への情報提供をお願いしたい。オンラインでウェビナーなどを使った情報提供はよくおこなっている。ご高齢の患者さんが置き去りになってしまう状況はあるが、何かオンラインを使った情報提供ということは考えられないだろうか。そしてそれを愛媛新聞などで採録記事として載せて頂くとか、そういうことができないか、選択肢の一つとしてご検討ください。

閉会の挨拶<谷水協議会会長>

本日もお忙しいところ、ご参加頂きありがとうございました。今回は Web 形式で会議を開催したが、Web 形式でも十分に情報共有はできたのではないかと感じています。拠点病院、推進病院の多大なご尽力および関係者の方々のご協力により、愛媛県のがん対策はよく推進している状況であるのではないかと感じています。全国的にも、会議があればほぼ毎年登壇している。全国のモデルとしても注目されているので、自信をもって協議会の活動を続けていきたい。また新しいことも、知恵を絞って考えれば、愛媛県から発信できるのではないかと改めて感じています。これからもどうぞよろしくお願い致します。

閉会

令和3年度 年間スケジュール

(資料4)

日時		開催会	内容	場所
4月22日(木)	18:30~20:00	幹事会	(協議事項) ・令和3年度幹事会会員の紹介 ・今年度役員会、専門部会の会員について ・年間スケジュールについて ・各専門部会より連絡事項について ・その他	四国がんセンター
8月7日(土)	10:30~11:30	役員会	(決議事項) ・今年度役員、幹事及び専門部会員について ・年間スケジュールについて ・その他幹事会で協議された事項	四国がんセンター
8月7日(土)	13:00~14:25	専門部会	(連絡・協議事項) ・各専門部会の年次活動方針及び企画について周知および活動に関する審議 ・その他	
8月7日(土)	14:30~15:15	報告会 (役員会・専門部会報告)	・役員会および各専門部会決定事項、活動に関する事項の報告 ・その他連絡事項	
10月7日(木)	18:30~20:00	幹事会	(協議事項) ・各専門部会の活動について ・次年度計画案(各会開催日の決定) ・その他	四国がんセンター
12月4日(土)	13:00~14:25	専門部会	(連絡・協議事項) ・各専門部会の活動に関する審議 ・次年度計画案について ・その他	四国がんセンター
12月4日(土)	14:30~15:15	報告会 (専門部会報告)	・各専門部会活動に関する事項の報告 ・その他連絡事項	

愛媛県連携協議会幹事会
2020/10/08@松山

PDCA部会活動報告

がん診療体制を改善していく環境を整えることは、がん専門病院としての義務である。PDCA(Plan→Do→Check→Act)活動を推進することにより診療体制の充実を図り、県全体の医療提供体制のレベルアップにコミットし、最終的には県内がん患者の予後改善に資することを旨とする。

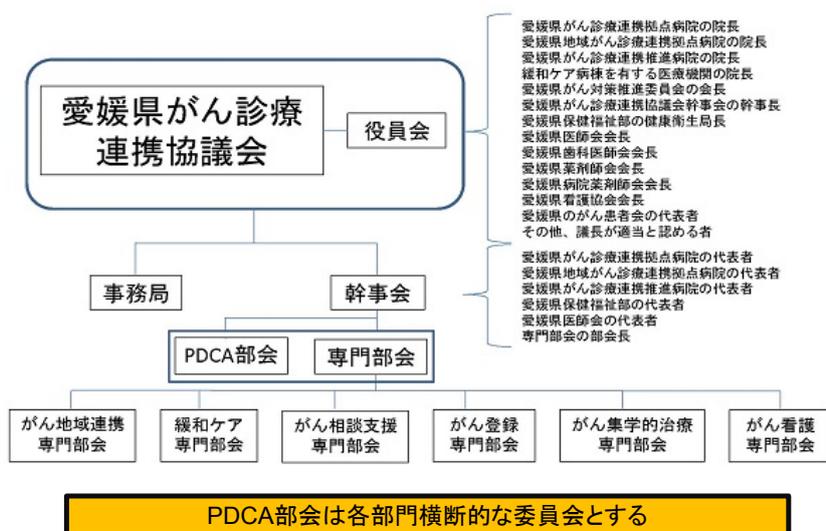
1) 具体的な臨床指標を共有し、各施設における診療体制の充実を目指す。

- ・臨床指標: 東京大学水流研究室で行っているがん診療体制における質評価指標、国立がんセンター東研究室: がん登録を用いる質評価指標、NHO臨床指標、等
 - ・県独自/施設独自の臨床指標の設定も目指す。
- 院内において定期的に確認、情報共有する。

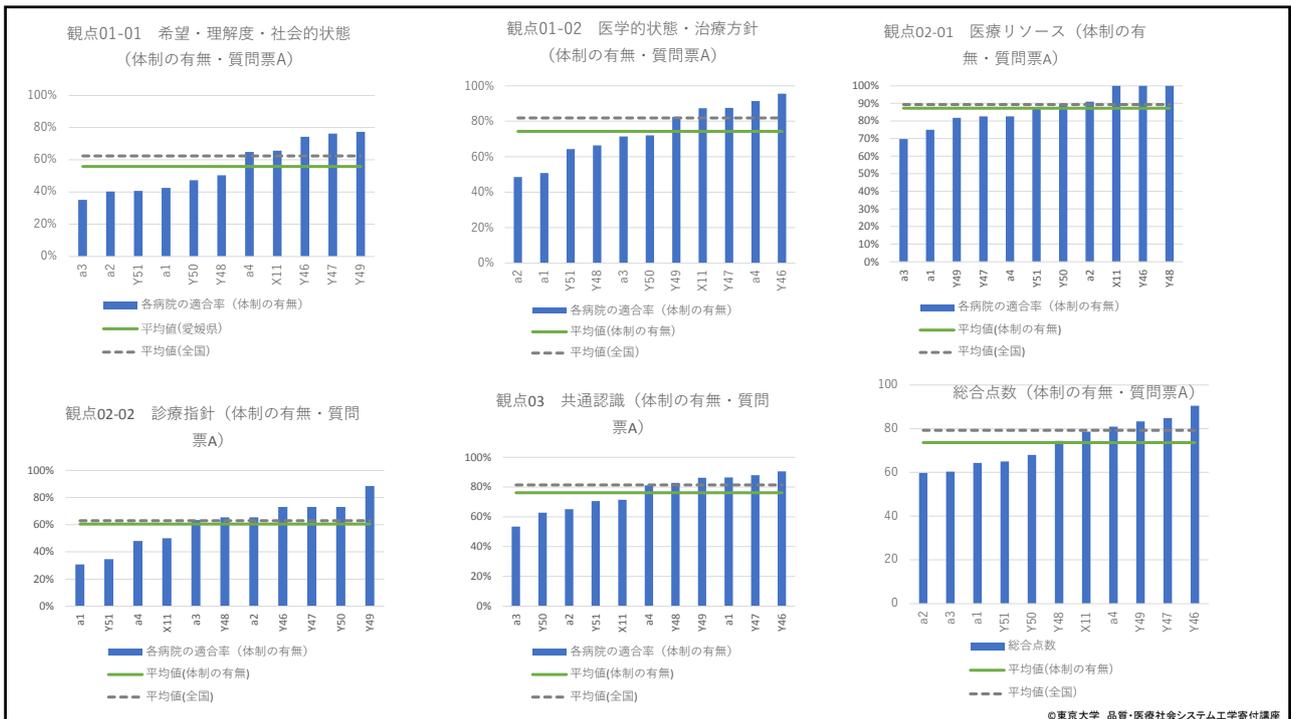
2) 3年に1度、連携病院間における診療体制の相互訪問調査を実施する。

1

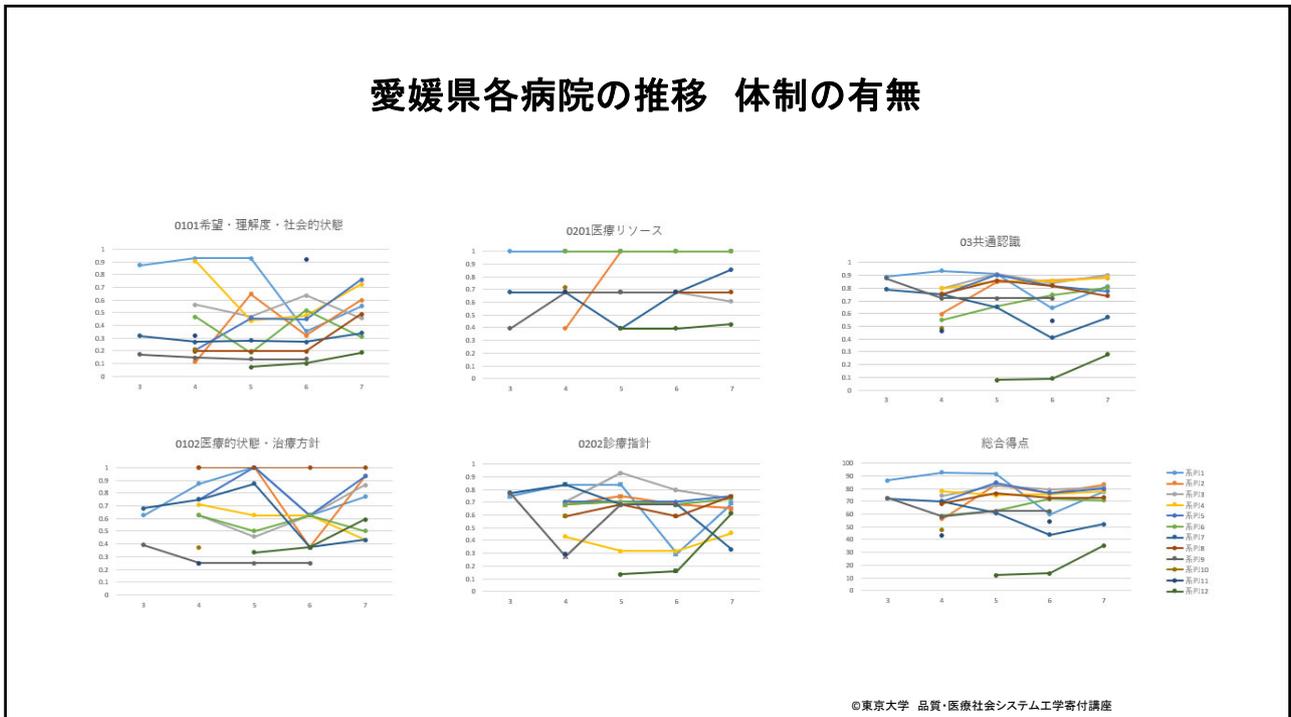
愛媛県がん診療連携協議会組織図



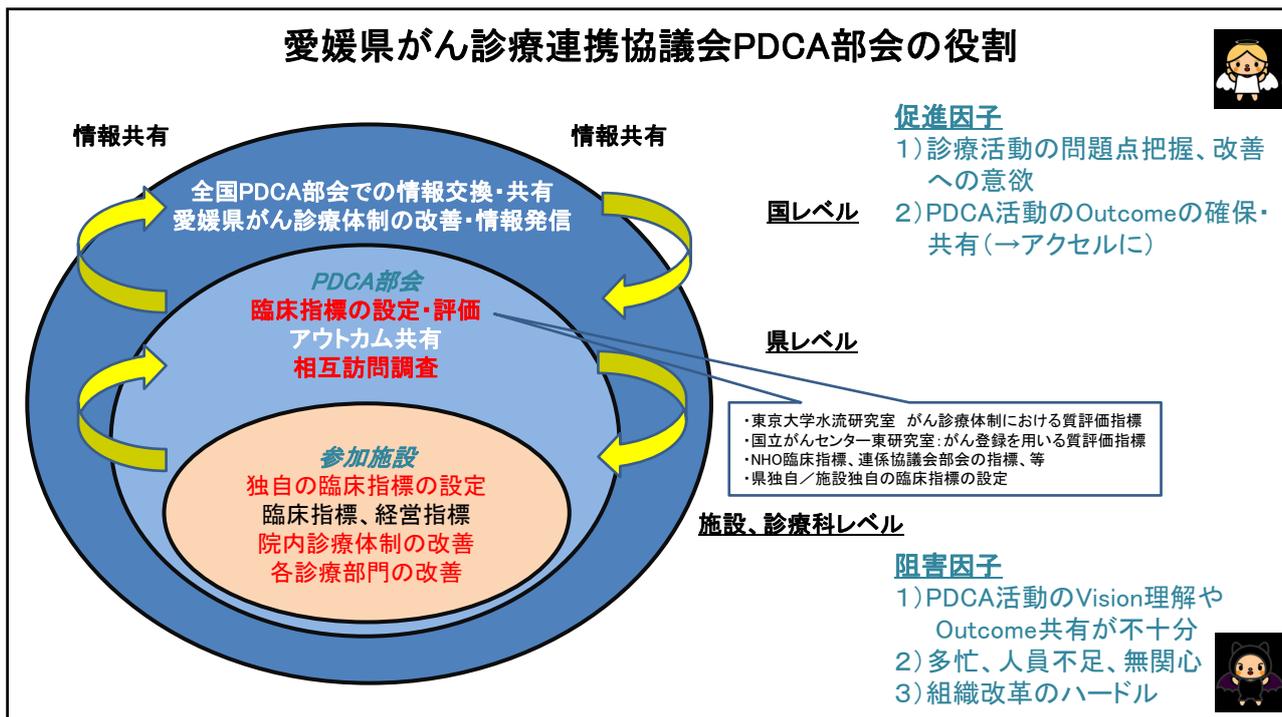
2



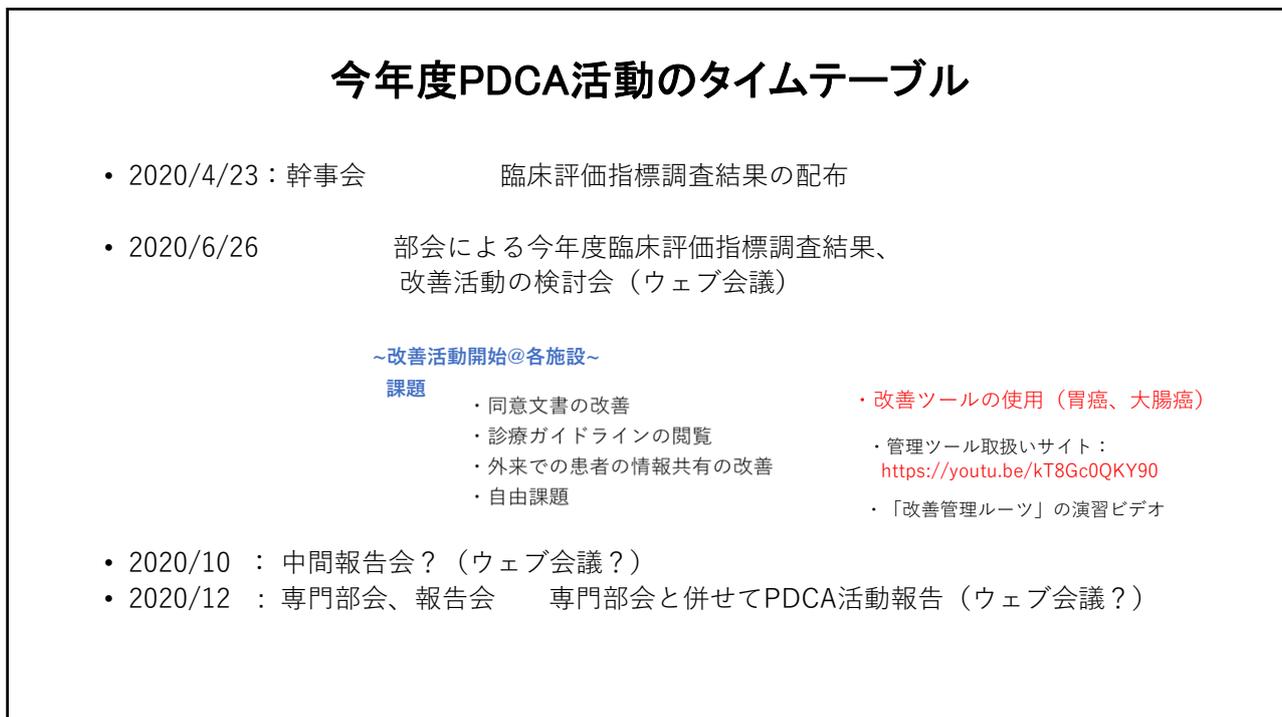
3



4



5



6

令和2年度 第1回愛媛県がん診療連携協議会 がん地域連携専門部会 Web 会議 議事録

日時 令和2年6月23日(火) 15:00~15:45

場所 四国がんセンター 医長室④

出席病院：15 病院

愛媛大学医学部附属病院・愛媛県立中央病院・済生会松山病院・松山赤十字病院 松山市民病院
済生会今治病院・済生会西条病院・住友別子病院・四国中央病院 愛媛労災病院・十全総合病院
HITO 病院・市立八幡浜病院・市立宇和島病院・四国がんセンター

司会進行：四国がんセンター 橋根勝義

書記：四国がんセンター 村上直子

資料

別紙資料①：2020年4月23日 がん地域連携専門部会の幹事会報告

別紙資料②：がん地域連携部会 Web 会議配布資料内容

1. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、連携室の視点でがん地域連携専門部会の果たす役割
 - 1) ①新型コロナウイルス流行時期における各医療機関での取り組み
 - ② ①に対して良かった点・反省点
 - 2) がん地域連携専門部会で行えばよかったこと、事務局として地域に発信すればよかったこと
2. がん地域医療連携 ネットワークシステムについて
 - 1) システムを導入している医療機関の取り組みについての現状報告
 - ①連携医療機関数、利用患者数等の実績
 - ②システム普及に関する取り組み
 - ③連携医療機関からの意見(良い点・悪い点)
 - ④システムに関する問題点や今後の課題(自施設、愛媛県全体)
3. がん地域連携クリティカルパスの使用推進に向けた各施設の取り組み
4. かかりつけ医の促進に対する各医療機関の取り組み

議事内容

I. がん地域連携専門部会の幹事会報告：四国がんセンター 橋根勝義(別紙資料①)

II. 配布資料内容に沿って各医療機関と意見交換を行った。(別紙資料②)

1. 新型コロナウイルスの感染拡大でがん地域連携専門部会の果たす役割

- 1) 新型コロナウイルス流行時期における各医療機関での取り組み
 - ・住友別子病院は、紹介患者の多い病院に予め診療情報提供書にコロナの症状が記載できるように整え、紹介をしてもらっている。

【オンライン診療について】

- ・HITO 病院は、電話再診が解禁されてからは多く行っている。
- ・四国がんセンターは、マニュアル作成後にホームページの掲載を行った。対象患者は、遠方の方や受診控えでの利用が多く、数件/日である。
- ・住友別子病院は、受診控えが多く再診の患者に限って対応し 150 件/月。

2) がん地域連携専門部会や事務局として行えばよかったこと

- ・愛媛大学医学部附属病院から、「連携パスを使用している患者についてコロナ禍でどのように診療をすればよいか」について記載があった。
今後、部会のホームページに載せる事も検討し、情報発信の一つにして行きたいため、協力をお願いする。

2. がん地域医療連携 ネットワークシステムについて

- ・宇和島病院：15000 件

医療機関に出向き設定し、SE がトラブルにすぐに対応できる体制が望ましい。

訪問看護ステーションや薬局にも広げている。訪問看護ステーションではカルテを直接見ることができ、安心感にも繋がっている。ネット環境を普段から使用していないと難しいが、画像や検査を送らなくてもよいため、逆紹介も楽である。

- ・愛媛大学医学部病院：100 件

「きさいやネット」を参考にしており問題はない。開業医からの問い合わせは時々ある。

- ・松山赤十字病院：1000 件 25 施設で 900 人

スムーズに運用できている。1000 件利用しているが、特定の医療機関に偏っている。

3. がん地域連携クリティカルパスの使用推進に向けた各施設の取り組み

- ・愛媛大学医学部附属病院は、がんパスの推進に向けて ICT の訪問で前向きの返事があれば、合わせてがんパスの説明も行っている。

4. かかりつけ医の促進に対する各医療機関の取り組み

- ・愛媛大学医学部附属病院は、病院全体で「かかりつけ医」のキャンペーンを行っている。
毎年、すべての医局に回りちらしを配布し啓発活動を行っている。

- ・宇和島病院は、2 年程度かけてかかりつけ医の促進を行い、紹介率・再紹介率とも 30%→70%
(100%以上の月もある) になっている。病院玄関に病院のパンフレットなどを置いている。

5. 松山市民病院、四国中央病院、十全総合病院、済生会西条病院、HITO 病院、市立八幡浜病院についても II-1~4 について意見を聞く。別紙資料②に意見を追加した。

次回開催予定：未定

連携室の取り組み発表当番病院

愛媛大学医学部附属病・松山赤十字病院



1

<p>緩和ケア専門部会 WEB会議</p> <p>2020年7月16日</p>	<p>1.各病院の概要報告 昨年から変更があった施設のみ発表</p> <p>2.各病院のPDCAサイクルの取り組み の中間報告と意見交換</p>
---	--

2

参加施設 グループ分け	施設	テーマ	
	1	松山赤十字病院	①チームのカンファレンスの持ち方
	2	愛媛大学附属病院	①チームのカンファレンスの持ち方
	3	愛媛県立中央病院	③ACPの定着への取り組み
	4	済生会今治病院(病棟有)	③ACPの定着への取り組み
	5	四国がんセンター(病棟有)	③ACPの定着への取り組み
	6	住友別子病院	②苦痛のスクリーニングからの対象患者の抽出と対応
	7	市立宇和島病院	①院内での緩和ケアチームの認知度向上の取り組み
	8	HITO病院(病棟有)	①院内での緩和ケアチームの認知度向上の取り組み
	9	四国中央病院	①院内での緩和ケアチームの認知度向上の取り組み
	10	済生会西条病院	①院内での緩和ケアチームの認知度向上の取り組み
	11	愛媛労災病院	①院内での緩和ケアチームの認知度向上の取り組み
	12	十全総合病院	①院内での緩和ケアチームの認知度向上の取り組み
	13	松山市民病院	①院内での緩和ケアチームの認知度向上の取り組み
	14	市立八幡浜病院	①院内での緩和ケアチームの認知度向上の取り組み
	15	済生会松山病院	②緩和ケアチームの質の向上の取り組み
	16	西条愛寿会病院(病棟有)	①認知症患者への取り組み
17	ベテル病院(病棟有)	①認知症患者への取り組み	

3

タイムスケジュール	内容
1. 参加者14施設48名	愛媛県立中央病院 松山市民病院 松山赤十字病院 愛媛大学医学部附属病院 済生会今治病院 市立宇和島病院 四国がんセンター HITO病院 済生会西条病院 済生会松山病院 十全総合病院 四国中央病院 松山ベテル病院 市立八幡浜総合病院
欠席	住友別子病院 愛媛労災病院 西条愛寿会病院
2. タイムスケジュール	17:35～17:37 挨拶 17:37～17:40 病院の概要報告(変更点がある施設のみ報告)
	PDCAサイクルに基づく緩和ケア専門部会活動の中間報告と質疑応答
	17:40～18:00 Aグループ がん診療連携拠点病院6施設 18:00～18:30 Bグループ がん診療連携推進病院7施設 18:30～18:35 Cグループ 緩和ケア病棟を有する病院1施設 18:35～18:40 まとめ

4

<p style="text-align: center;">質疑応答</p>	<p>Aグループ（がん診療連携拠点病院6施設）</p> <p>Q：済生会今治病院はテーマ②に対して、明確にスケジュールを立てて活動している。現時点で何か問題が生じていないか教えてほしい。</p> <p>A：問題は発生していない。</p> <p>Q：愛媛県立中央病院はテーマ③に対して、新しくACPスクリーニング用紙の運用を開始しているが、現在の回収枚数など解れば知りたい。</p> <p>A：明確な枚数は答えられないが、まずは回収できている。</p> <p>Bグループ（がん診療連携推進病院7施設）</p> <p>Q：各施設、評価指標の設定はしているのか。例えばテーマ②では依頼数で評価しているのか。</p> <p>A：評価指標を設定していると返答した施設はなし。</p> <p>他の診療科からの依頼数、入院期間の変化、アンケート調査などが挙げられると思うが、部会での意見交換などで考えられたらよいのではないか。</p>
--	--

5

<p style="text-align: center;">質疑応答</p>	<p>Cグループ（緩和ケア病棟を有する病院1施設）</p> <p>Q：松山ペテル病院ではテーマ⑥の取り組みをしている。</p> <p>他施設で認知症患者への取り組みで参考になるような知見があれば教えてほしい。</p> <p>A：いずれの施設も解りかねる状況</p> <p>全体での質疑応答</p> <p>Q：HITO病院はテーマ②に対し、既成のものを使用せずオリジナルのバッジを作しているが、理由があれば教えてほしい。</p> <p>A：目立って声をかけてもらいやすいように、既成のものを利用するのではなくオリジナルにした。</p> <p>その他</p> <p>四国がんセンター谷水院長より、第3期愛媛県がん推進計画(H30～R5)の中間評価を作成するため、各施設のがん推進計画進捗状況調査のご協力をお願いする。</p>
--	--

6

今後の予定

新型コロナウイルス感染対策のため、カンファレンスが中止となり、活動ができていなかったり、勉強会が開催できなかった施設があり、今後の活動に期待する。

各施設での取り組みを進め、評価を行い、その結果についてまとめ、12月の専門部会で情報共有を図る予定である。

がん相談支援専門部会からの報告

I. 報告・協議事項

1. 「愛媛県がん診療連携協議会がん相談支援専門部会の目的・活動方針」
修正案
2. 今後の体制と副会長の変更について
副会長2人追加、実務者代表2人の変更
3. 災害WGの活動について
4月9日第2回災害連絡シュミレーション報告
WG活動案の提案、サブリーダーについて
4. 地域相談支援フォーラムについて
3月7日に予定していたが中止、今後の予定も未定、今年度の高知開催も未定
5. 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会情報提供・相談支援部会報告
(第14回6月5日オンライン配信)
「がんとの共生のあり方に関する検討会」における議論について
小児がん連携病院と小児がん医療連携について
「がん総合相談に携わる者に対する研修事業」について

1

II. 各ワーキンググループの活動報告

- 1) がん相談員研修ワーキング
 - ① 第1回がん相談員研修会は中止
 - ② QA研修会は11月14日(土)にオンライン研修会を予定
 - ③ 国がんが行う研修はオンラインになっていることの報告
- 2) 広報活動ワーキング
 - ① 11月8日に読書週間に合わせて愛媛県立図書館との共同企画を予定
 - ② 2021年3月14日(日)住友別子病院と新居浜市との共催イベントで
出張相談を予定
 - ③ がんサポートサイトえひめについて 現状報告と活用推進
- 3) チェックリストワーキング
 - ① 今後の活動予定 例年通りチェックリストの作成を施行予定
 - ② チェックリストの整理と見直し
 - ③ 愛媛県がん相談支援推進協議会からがん対策推進基本計画第3期計画
の中間評価に利用することを検討中 協力依頼

2

Ⅲ. その他

1. サロンカレンダーについて
各施設の一覧表のみの記載
2. 愛媛県健康増進課より「若年がん患者在宅療養支援事業」についての案内
今年度は5市町で事業が開始
他の市町は順次拡大予定
3. 愛媛県産業保健総合支援センターより「両立支援活動の紹介」
4. ハローワーク出張相談開始報告 住友別子病院から報告
産保センター出張相談開始報告 愛媛県立中央病院から報告

愛媛県がん診療連携協議会 がん相談支援専門部会 (Web 会議)

議事録

令和 2 年 7 月 9 日 (木) 13:30~14:30

出席者 (39名)	愛媛大学医学部附属病院	塩見、大野、武市 六角	愛媛県立中央病院	渋谷、上野、季羽 石山、小笠原、井上
	済生会今治病院	松岡、池田、西部	松山赤十字病院	玉井、佐伯、金山 高須賀
	住友別子病院	和田、山地、高橋 小倉	市立宇和島病院	毛利、川中、沼田
	松山市民病院	三谷	四国中央病院	古川、高木
	HITO 病院	守屋	十全総合病院	向井
	済生会西条病院	大谷	済生会松山病院	平岡、藤原
	市立八幡浜総合病院	高橋	四国がんセンター	灘野 (部会長) 羽藤 (副部会長) 藤山 (副部会長) 福島、関木、藤岡
記録者	四国がんセンター	藤岡 (事務担当)		

委員以外の参加者：愛媛県保健福祉部健康衛生局 健康増進課 健康政策グループ

担当係長 白石拓也氏

愛媛産業保健総合支援センター 産業保健専門職 福田せいら氏

挨拶

がん相談支援専門部会 部会長 灘野成人

それでは、令和 2 年度がん相談支援専門部会を始めたいと思います。部会長の灘野です。今日はお集まりいただきありがとうございます。Web 会議で行うのは今回が初めてで、色々不手際もあると思いますが、進行にご協力よろしく願いいたします。

協議会全体の兼ね合いで、新しく当院の副部会長が二人増えました。消化器外科の羽藤先生と皮膚科の藤山先生が副部会長になってくださいましたので、簡単に挨拶をお願いします。

(羽藤副部会長)

四国がんセンター消化器外科の羽藤と言います。この度、副部会長を務めることになりました。今現在、愛媛県の方でも相談支援の仕事もさせてもらったりしてる関係で、今回からこの専門部会にも参加させていただくことになりました。分からないことも多いですが、ぜひ頑張りたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

(藤山副部長)

皮膚科の藤山と申します。不勉強で全然分からないことばかりですので、これから勉強していきます。よろしくお願いいたします。

それと、今日は専門部会の委員以外に県から白石さんと産保センターから福田さんが参加していただいております。

愛媛県庁の健康増進課の白石氏と愛媛産業保健総合支援センターの福田氏より簡単に挨拶。

I. 報告・協議事項

1. 「愛媛県がん診療連携協議会 がん相談支援専門部会の目的・活動方針」修正（案）

部会長 灘野成人

専門部会の目的と活動方針というのがありますが、目的は変更ありませんが、少し活動に合わせて方針の詳細項目を追加しています。四国でフォーラムを行ったり、チェックリストを実施したり等の活動が増えていますので、活動方針の修正案を提案します。

この場で意見は出ないようですので、後日意見のある方はご連絡をお願いします。

2. 今後の体制と副部長の変更について

がん相談支援専門部会 部会長 灘野成人

前の部会でもお話しましたが、実動部隊としての副部長を塩見さんに無理をお願いして2期4年間していただきましたが、今回から副部長を今治済生会病院の松岡さんに代わっていただいています。やはり専門部会のとりまとめとなりますので日頃の業務と合わせて大変ご負担をお掛けしますので、今回新たに「愛媛県がん診療連携協議会がん相談支援専門部会 副部長（医師以外）に関する取り決め事項」（案）を提案させていただきました。これまでの一人から二人体制で、一人は四国がんセンター、一人は拠点病院から順番でということで提案させていただきます。

（案の作成者：愛媛大学病院の塩見委員）

中身は後日でもご意見をいただきたいのですが、先ほど先生方が副部長として入っていただけるということでしたので、名称については、例えば、ここで言ってる「副部長（医師以外）」というのは、例えば「実務者」等という呼びの方がよいのではないかと感じました。というのも、実際今、四国単位で色々研修会だとかフォーラムの動きがある中で、色々役割がどういう方なのかということも大事なことになりますので、名称だけでもはっきりさせておいた方がいいのかなと感じました。以上です。

ありがとうございました。今の塩見さんの意見はもっともですし、実務者のまとめ役という人が二人は必要だろうということで、案の修正を行いみなさんにメールで承諾を得たい

と思います。ご意見、ありがとうございました。

他にないでしょうか。またお気づきになる点がありましたら、またご連絡をお願いします。

「愛媛県がん診療連携協議会がん相談支援専門部会 副部会長（医師以外）に関する取り決め事項」（案）⇒（修正）「愛媛県がん診療連携協議会がん相談支援専門部会 実務者代表に関する取り決め事項」（案）

【輪番予定（案）】令和2年～3年度 済生会今治病院
令和4年～5年度 住友別子病院
令和6年～7年度 県立中央病院
令和8年～9年度 市立宇和島病院
令和10年～11年度 松山赤十字病院
令和12年～13年度 愛媛大学医学部附属病院

3.災害WGの活動について

災害WGリーダー 関木裕美（四国がんセンター）

第2回災害連絡シミュレーションの報告です。4月9日10:35に2回目のシミュレーション（愛媛県の病院におけるがん患者さんの受け入れ態勢調査）を専門部会のメーリングリストへメール送信させていただきました。全施設から返信を頂き、表の通りの結果です。まず、前回第1回目はパスワードが届くまでのタイムラグが理由で配信メールが届くのが遅かったという反省から、調査票自体にパスワードの設定することで遅延なくメール送信ができました。14ヶ所のうち、当日の返信が11ヶ所あり、1週間以内が3ヶ所でした。当日の返信のうち、配信後3時間以内が5ヶ所（配布資料訂正：3時間以上5ヶ所→3時間以内5ヶ所に訂正）、3時間以上が6ヶ所という結果でした。メールの送受信というのは問題なくおこなえたかと思います。年度初めの実施でしたが、返信はスムーズだったかと思います。今後の展望としては、この調査表の中に「電話」とか「FAX」のところは直通とか代表というふうに記載があるところと、斜線でないところとあるんですか、統一できたほうがよいのではないかと思いますので、今後WGで協議したいと思います。今回はメーリングリストの再確認とメールの送受信ができるかというのが目的でしたので、グレーの色がついている「記載なし」が何ヶ所かあるんですけども、今回は問題ないんですが、今後はここも記載できるように自施設内で定期的に話し合ってください必要があると思います。また、今回は新型コロナウイルスの感染対策ということについても6項目追加して情報共有させていただきました。その後改めて新型コロナウイルスの感染対策状況調査というのをメールで発信させていただきました。その後の各施設においても体制として状況変化、対応状況の変更というのが頻繁におこなわれていた状況があったため、変更点についてみなさんと情報共有するのが難しかったかなと思います。今後の情報共有をどうするか、その必要性につ

いて検討が必要かと思っております。これまでのシミュレーションのこのことについては、何かご質問とかあればこの時点でお伺いします。

⇒特に意見なし。

次の「災害ワーキングの活動（案）」とういところにうつりたいと思います。

昨年度の専門部会で、災害ワーキングを立ち上げて活動していくということになって、正式に活動するにあたり、目的を共有した上で取り組みたく活動案を提案させていただきました。「災害ワーキングの立ち上げの経緯」「目的」、「目標」は案の通り、「方法」として、まずは災害ワーキングメンバーをご施設で選んでいただいていますのでそのメンバーからリーダー、サブリーダーを決定し、活動計画を立案していきたいと思っております。提案内容について何かご意見はありますでしょうか。

⇒特に意見なし。

この内容でワーキング活動を進めさせていただけたらと思います。

ちなみに、リーダー、サブリーダーは、リーダー四国がんセンターの関木がさせていただきます。サブリーダーは、東予については住友別子病院の山地委員、南予は市立宇和島病院の毛利委員にお願いしたいと思います。まずコアメンバーで活動させていただきながら、メンバーのみなさんが持っている知識などをご提供いただきながら活動できればと思っておりますのでお願いします。

（灘野部会長）

一昨日も、大雨警報アラートがでていたので、災害等の状況などについて調査した方がよかったと思いました。どういうときに状況調査をするかを決めておかないといけない。1回やっても、先日の新型コロナウイルス感染症拡大に関わる調査のときも後が続かなかつたので、例えば1週間に1回やるとか、具体的に決めないといく必要があると思います。やはり、災害の警戒レベル4になったらMLに流すなど行動レベルで決めておくことが大事になると思います。

災害の状況調査を近いうちに1回「ご自分の施設は何の影響もないよ」とか「周りは大丈夫」ということだけでもよいので。明日と明後日も大雨が続く見込みであるため、また余裕があればさせていただこうと思います。このようなメールは、突然配信することになりますので、またメールが届きましたらよろしく願いいたします。今回は、できておらず、反省しております。

今後は、コアメンバー、メンバーのみなさんと一緒に基準や取り決め事項を整理していきたいと思っております。

4.地域相談支援フォーラムについて

2019年度地域相談支援フォーラム in 四国愛媛開催 実行委員長

塩見美幸（愛媛大学医学部附属病院）

昨年度開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で開催できませんでした。ワーキングメンバーの方々には、本当に何度も月 1 回集まっていたただけでなく、かなり各自での作業も負担が大きかったと思いますが、ご協力本当にありがとうございました。就労支援で、せっかく愛媛県内で、みなさんと一緒に学べる機会になると思ってはりきって準備はしていたんですけども、また次の機会と言いますか、四国全体でフォーラムは続けていこうという意向は続いておりますので、みなさんにそれぞれご協力をしていただけたらと思います。以上です。

（灘野部会長）

今年度は、高知県で開催する予定もコロナ禍なので、難しいようですが、もし年度末くらいでコロナが非常に落ち着いた状況があれば、開催できる可能性はあるでしょうか。

（塩見委員）

今年度は、講師の先生方のことがありますので、現時点では動いていません。開催できるかどうかは何とも言えないです。

（灘野部会長）

せっかく準備していただいたので勿体ないと思いますので、再来年とかになってしまうと、また1からになってしまうかと思ひまして、すみません。それでは、一応フォーラムはまた機会を見てやるということで、その時はよろしくお願いします。

5. 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会情報提供・相談支援部会報告

（第 14 回 6 月 5 日オンライン配信）

福島美幸（四国がんセンター）

第 14 回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会の情報提供・相談支援部会がオンラインで公開されましたので内容を抜粋してご報告致します。まず昨年よりすすめているがん共生のあり方に関する検討会における議論の経緯について厚労省健康局よりお話がありました。3、4 か月に 1 回のペースでご覧のとおり開催されておりました。緩和ケアに関しては昨年度実地調査を 2 か所パイロット的に行い、今年度以降全国実施に向けて検討するということでした。また、緩和ケアの研修会の継続研修の必要性や地域緩和ケア連携調整員の育成、苦痛のスクリーニングの見直しというのが挙がっておりました。

相談支援及び情報提供では、相談支援の質の担保、多様化・複雑化している相談内容、ニーズに対応できる体制についてや、ピアサポートが十分普及していない、地域統括相談支援センターの見直しについても議論されています。平成 30 年 7 月に出版された成人がん拠点病院の指定要件の見直しにも AYA 世代や就労相談の連携、がんゲノム、生殖機能などの相談対応も盛り込まれております。相談支援センター対象の WEB アンケートの結果からもご覧のような課題が挙げられておりました。また地域における相談の取り組みとして国が作成

したプログラムと教材を積極的に活用してピアサポートに係る研修を行うということも挙げられています。

地域統括相談支援センターは全国に15か所ありますけれども、愛媛県では設置の予定はないと聞いています。また、みなさんの施設にも届いていると思いますが、ピアサポーター養成テキストというのも日本サイコオンコロジー学会に委託され作成されています。がん専門相談員の育成としては、継続的な研修体制等や施設により役割分担の必要性とか環境作り等があげられています。地域における相談支援としてはピアサポートと拠点病院の連携体制作りが挙げられていました。就労についてもアピアランスケアの普及とか自殺対策として専門的ケアにつなぐなどがあげられていまして、モデル事業では、お役立ちノートの活用や取り組み実績についても共有をされておりましたので参考になると思います。

また、アピアランスケアについての必要性と取り組みが挙げられておまして、就労支援、両立支援の更なる推進についても医療機関は診断初期から支援する、ニーズを引き出せる支援者の資質向上、アピアランスケアの相談の入り口として相談内容としてとりいれていくことも取り組みとして挙げられていました。自殺対策については、がん相談支援センターメーリングにてヒアリングが1月にありまして、地域と病院の取り組み例が挙げられております。愛媛県でも取り組んでいるゲートキーパーの養成というのも挙げられていました。厚生労働省のホームページの方には両立支援と相談支援が掲載されたというところと、身障手帳の申請時の写真というところで、アピアランスケアの観点から帽子やウィッグが認められていることの周知がありました。

小児がん医療については、成育医療研究センターの松本先生よりお話がありました。

小児がんは15歳未満の方を対象としており、数は少ない反面種類が多いという特徴があり、全国では15施設の小児がん拠点病院があります。ブロック別に小児がん連携病院があります。愛媛県では、愛媛大学医学部附属病院、県立中央病院、松山赤十字病院の3つの施設となっています。小児がん相談員の配置が望ましいと言われていたというところと、小児がんと成人がんの連携というところでは、AYA世代のがんに関しての連携と小児がん経験者の長期フォローアップに関しての連携が重要だということのお話がありました。

まず、小児がんのことを正しく知って情報提供をして下さいということで、国立がん研究センターがん情報サービスのホームページも小児がん情報サービスというのもありますということでご案内がありました。また、ホットラインといのもありますので、患者さんへ紹介することも可能です。連携病院の相談員に推奨されている研修の案内もありました。

がん総合相談に携わる者に対する研修事業については、日本サイコオンコロジー学会の小川先生よりピアサポートに関する研修を学会が対がん協会から引き継いで活動している厚生労働省委託事業として報告がありました。ピアサポートの養成、質の担保に関する課題をまとめておられて、養成には体験者と行政と医療者の三者の協力が欠かせない、ピアサポートは語りべとして医療にたずさわる一つのリソースであり医療者はそれを理解しどう活用するかを考えていく必要があるということと、また行政は更に理解する姿勢が大事であるとの

ことでした。研修事業はホームページに公開されているそうです。またみなさんご覧ください。

がん対策情報センターからは、研修プログラムの案内がありました。研修企画コンサルティングや学習の手引きの案内もありました。2020年度のeラーニングと集合研修の相談員研修スケジュールの案内では、集合研修の基礎研修3が中止となっていますが整備指針を満たせない施設に対しては第4回を検討中とのことでした。指導者研修はWEB開催の予定の案内でした。来年度についてもオリンピック・パラリンピックの開催も予定されているので、変則的に計画がされています。QA研修講師派遣については3年計画の最終年となっており、四国では最終回となります愛媛県での開催が11月14日土曜日に決定しております。また後程この件に関してはご報告します。

認定事業についてはご覧のとおりで、認定がん相談支援センターの申請は今月末まで延長となっています。また、都道府県主催がん専門相談員向け研修の予定公開を早めにする事となったとのことで、都道府県主催のオンライン研修も今後多くなっていくと思いますが、これまでの要件を満たせばⅢ郡研修としても認められるというご案内がありました。昨年度の地域相談支援フォーラムは青森県の報告があり、相談員のストレスマネジメントを学ぶ内容となっていました。

最後は、3月から4月にがん相談支援センターメーリングリストで「相談支援及び情報提供」の個別目標に関するWebアンケートの結果が挙げられておりましたので今後の活動の参考にご活用ください。以上です。

(灘野部会長)

もう少し詳しく見たい方は、がん情報サービスのホームページに入っていただいで見ていただければYouTubeが聞けると思いますので、よろしくお願ひします。

6. 各ワーキングからの報告

1) 相談員研修WG

福島美幸(代理)(四国がんセンター)

(リーダー:四国がんセンター 篠原瞳)

- ・今年度の相談員研修について

1回はQA研修を11月14日に予定

毎年2回開催しているところのもう1回については、今年度は集合研修が難しいだろうということと、ワーキングも集まって開催できないということで、今年度はなしということになりました。

- ・令和2年11月14日(土)QA研修の開催予定について

実際、QA研修の方についても、オンライン研修となった場合なんですけれども、グ

グループワークがあるのですが、環境的に、参加をしようと思った際に、一人ずつのそういう環境がないとなかなかグループワークって難しいのではないかと思います。みなさんの病院さんで個人が参加しようと思った際にそういう環境というのが整っているのかどうか、少し確認ができればと思いますが、いかがでしょうか。

(灘野部会長)

QA 研修は、本部の方はいわゆるオンラインを入れながらという方針のようで、コロナの影響もありますので、こういう研修とか学会が将来的にはオンラインを混ぜながらの開催になるのではないかと思いますので、各病院で積極的に体制を整えていけないといけない時代になっていくんじゃないかと思います。本日の会議は支障なくできているようですが、研修ができるくらいのオンラインネット環境を各病院の方に環境を整えていただく必要があると思います。そのあたりは、また幹事会の方でも話がでるかもしれないのでまたその時は話をしておきますので、皆さんの施設でも整備についてよろしくお願いします。

(福島委員)

塩見さんの方から、研究班によるオンライン研修について少し情報提供をお願いできればと思います。

(塩見委員)

研究班の方の動きは、まだ不確定な要素が多いのですが、先日も案内がありましたように 8 月に行われる国がんで行う研修はすべてオンラインになっています。今後の情報支援の研修などもオンラインにできないだろうかと検討中ですので、おそらくオンライン研修の方向で動いていっています。私も何度か Web 会議をやっていますが、パソコンと Wi-Fi などのしっかりした通信環境があることが条件となるかと思しますので、愛媛の 11 月の開催がこういった形式になるのかというのはまだ東京の先生方々とも相談にはなるかとは思いますが、各病院で、病院でこの研修を受ける場合でしたら、Wi-Fi とかパソコンの環境があるのかどうか、またご自宅からでももちろんその環境が整っていればそういった Web 会議のかたちは可能かと思しますので、そういった準備を各自とか各病院でやっていくことが大事ではないかと思っています。以上です。

(福島委員)

また、皆さんの状況も確認させていただきながら、詰めて決定していきますので宜しくお願いします。

2) 広報活動 WG

福島美幸（代理）（四国がんセンター）
（リーダー：四国がんセンター 大西明子）

- ・ 令和2年11月8日（日）愛媛県立図書館 出張相談会について
今年度の予定は、11月8日（日）に愛媛県立図書館の方で、出張相談会を予定しております。現時点では愛媛県立図書館さんの方でも開催する方向だと伺っておりますので、よろしくお願ひします。
- ・ 令和3年3月 新居浜 出張相談会について
来年の3月には、新居浜の方での出張相談会というのも計画しています。
- ・ がんサポートサイトえひめについて
ご協力いただいているのですが、現在、子宮がんの方を作成中で、最終段階との報告が入っております。みなさん、またサイトの方を確認していただひて、相談支援の方でも活用をお願ひします。

（灘野部会長）

先日、NPO 法人愛媛がんサポートおれんじの会の松本さん達の最終チェックを受けておりますので、秋までには公開できると思ひていますので、ご利用をよろしくお願ひします。

3) チェックリスト WG

チェックリストWG リーダー
松岡誠子（済生会今治病院）

- ・ 今年度の活動予定について
昨年度のチェックリストの結果につきましては、5月中旬にみなさまに協議会のメーリングのほうで配信をいたしましたので、お目通しいただいたと思ひます。みなさまの取り組みの成果で全体の改善数も上がってきており、チェックリスト活動を続けてきた成果が出てき始めたのではないかと思ひております。ご協力ありがとうございました。
- 本年度は、昨年度の協議会で塩見さんから情報提供いただいた「国がんから示されている共通項目の内容」や「新整備指針の内容」を反映してチェックリスト項目の整理と見直しを少しおこないたいと思ひております。ただ、活動する期間が大変限られておりますので、今年度は項目見直しの着手、具体的には、ワーキングで検討後、チェックリスト項目の見直しについてみなさまにご承認をいただいた上で、引き続き今年度もみなさんにチェックリストの作成をお願ひしたいと思ひております。提出の期限や方法についてもメーリングリストでみなさまに配信させていただきますので、ご協力をよろしくお願ひいたします。ここまでで、何かご質問やご意見がありますで

しょうか。

⇒特になし

塩見さんの方から関連事項についての情報提供をお願いしたいと思います。

(塩見委員)

愛媛県がん相談支援推進協議会の方の動きと絡めてになりますが、毎年このチェックリストをこの部会につけていただいて、もう4年目5年目になるんですが、このデータを愛媛県のがん対策推進基本計画第3期の計画の中間評価に使えないだろうかということで、今、県の推進協議会の方で検討を重ねているところです。実際に、その中間評価の項目でチェックリストの結果で使えそうなところは使わせていただこうと思っておりますが、加えて部会のみなさんに詳細な情報を教えてもらいたいことがあるかもしれませんので、その場合はこの1か月内にメールで情報提供を呼び掛けてお願いさせていただきますのでご協力をお願い致します。

以上。

II.その他

1. サロンカレンダーについて

サロンWGリーダー 関木裕美(四国がんセンター)

県内のサロン開催カレンダーですが、これまで年2回情報収集をして暖だんやがんサポートサイトえひめのホームページに掲載しておりましたが、新型コロナウイルス関係で中止などもあり、今後は各施設の一覧表のみの掲載とさせていただきます。また、情報収集については、えひめがんサポートサイトの活動に集約していただくことができましたので、そちらから年1回定期的にまた、不定期の場合もありますが、情報収集する際に確認させていただくこととなりますのでよろしくお願い致します。また近いうちに子宮がんの情報収集が近々行われる予定とのことですので、併せてがんサロンの一覧表についても変更等ありましたらよろしくお願い致します。

(灘野部会長)

がんサロン開催についても、新型コロナウイルス感染の対策もしながら安全に再開する必要もあると思いますので工夫して頂いて再開できることを祈っております。

2. 愛媛県健康増進課より「若年がん患者在宅療養支援事業」についての案内

愛媛県健康増進課 白石拓也氏

愛媛県が今年4月1日より実施している若年がん患者在宅療養支援事業についてご案内とお願いです。

6月中旬に院長宛にリーフレットをご案内している、若年がん患者さんの在宅療養を資金的なバックアップをするものです。20歳以上40歳未満で介護保険の対象にならない

い方を対象に行政の方で支援するものです。回復の見込みがないがん患者さんで在宅で訪問入浴、訪問介護、福祉用具貸与や購入などのサービスを利用した場合に、月額6万円を上限に自己負担は1割になりますが、県と市町からサービス利用料の一部を負担するものであります。現時点では、リーフレットの下に市町の担当窓口を掲載していますが松山市、宇和島市、西予市、鬼北町、松野町の5市町となります。順次拡大していこうと考えております。在宅療養をする際にサービスを使いたい方がいらっしゃいましたら、5市町の担当窓口（電話）に問い合わせいただき制度が利用できるか相談をしていただき、詳しいことは随時県の方にもお問い合わせ（裏面記載）していただければと思います。慣れない中ですが、皆様のご協力をいただきながら、がん患者さんの支援を少しでもしていきたいと考えておりますのでよろしく願いいたします。

（灘野部会長）

5市町以外で希望があった場合は県へ相談させていただいても宜しいですか？

（白石氏）

市町の事業ですので、今年度中に時期は未定ですが八幡浜市と久万町の方もできる予定です。来年度はもっと拡大される予定です。

（灘野部会長）

何かありましたら白石さんへご連絡して頂ければと思います。

3. 愛媛産業保健総合支援センターより「両立支援活動の紹介など」

福田せいらい氏

愛媛さんぽセンターは産業保健スタッフの皆様の活動を支援する公的機関で、働く人のこころとからだの健康をサポートしております。産業保健に関するセミナーや相談対応、メンタルヘルスに関する対策、支援、治療と仕事の両立支援活動を行っております。

少し両立支援を取り巻く社会の現状についてお話させていただきます。ご存じの通り、治療の進歩によりかつては不治の病とされていた疾病においても生存率が向上、長く付き合う病気に変化しつつあります。しかし、実際にはがんと診断された時点で仕事を辞めてしまうという方が4割程度いるという現実があります。少子化に伴い就労人口は大幅に減少、就労年齢の高齢化により労働者の有病率の増加もあり、治療をしながら働くことが普通にできる社会づくりが今必要とされています。一方で医療機関において、両立支援の取り組み状況は様々で、患者、労働者が医療機関との連携が取れずに、仕事に対して悩みを抱えたまま離職してしまうケースも少なくありません。こうしたことから、労働者の両立支援に取り組む企業に対する支援や、医療機関における両立支援対策の強化が必要な状況となっています。

このような背景から、当センターも国から当事業を委託され現在活動しております。労働者や患者様に対して、実際にお会いして個別相談、そして電話相談、そして会社訪

問もしております。社労士や保健師等の専門スタッフが対応し、課題を整理し、具体的な方策をアドバイスさせて頂いております。その他、県内の関係機関にこの両立支援の周知・啓発活動、また病院向けや会社向けにセミナーの開催、また両立支援コーディネーター研修も行っております。

当センターも全国の各病院に設置を進めております、就労相談窓口の役割と必要性についてご説明いたします。仕事と治療の両立では、職場、家族、病院など登場人物がたくさんでできます。両立支援には、医療機関と会社との連携が不可欠ですが、登場人物が多いだけに、それぞれが持っている知識や使用する言葉も違うため、患者一人で情報を整理・共有することは困難です。このような点を解消していくために、患者の思いに耳を傾け、情報をきちんと整理し、患者を支援する存在が非常に重要です。その存在が各病院の相談窓口、当センター・労働局などの相談窓口となります。しかし、ただ窓口を作っただけでは不十分です。相談窓口へのハードルは患者さんにとって高いものです。患者さんが悩みに気付いて、このハードルを乗り越えられるよう、医療現場のスタッフの皆様一人一人が、患者さんを相談窓口へ繋ぐことが大切となります。そこで、まずはスタッフが要支援者を見つける環境作りが必要です。早期に離職を決断してしまう患者さまも多くいらっしゃいます。問診票や緩和ケアスクリーニングシート、入院時アナムネにて就労の有無を確認、また診断書を希望された時や、入院時センターでの説明時に就労相談窓口の案内を行うことも有効と思います。そして、まずは治療をしながら働くことは普通なことだと知ってもらうこと、両立支援や窓口の周知活動が大切となります。

今からできる就労支援についてご説明します。まずは患者が就労している確認する。この時点では就労の有無だけでも構いません。次に、早まってやめないように伝えることが大切です。治療に専念しましょう！という医療者の言葉から早期退職してしまうことがあります。そうなる前に、治療をしながら仕事を続ける選択肢はあることをお伝えし、まずは辞めないように伝えて下さい。

そして相談窓口の場所を教えてください。院内の窓口でも、当センターや労働局の窓口でも構いません。まずは一番に患者さんに治療をしながら仕事を続けることが出来ること、相談できる場所があることを知って頂くことが重要です。当センターでは治療と仕事の両立支援に関する周知資料をたくさんご用意しております。すでに何カ所か直接訪問し配布させて頂きました。まだお持ちできていない病院へは、今後郵送にて送らせて頂こうと思っております。最後に皆様、医師の意見書についてご存じでしょうか。会社側が復職後の勤務内容について検討しようとするも、患者の状態は抗癌剤の種類、合併症など治療経過によって様々で、会社側が勝手に予測するのは不可能に近く、また患者から会社に説明するのも困難です。今まで診断書と言いますと、ただ療養期間や就業の可否のみだったと思いますが、今後この両立支援で必要とされるのが、この働く際の具体的な注意点・配慮について書かれた医師の意見書となります。作成

に当たっては、まず①患者が勤務情報を医師に提供、それをもとに②医学的な立場から、望ましい就業上の措置や配慮について書かれた意見書を患者へ提出し、③それを患者が会社に提出します。④その意見書を元に会社が復職プランを作成します。このやりとりが会社・病院・患者間で当たり前・自然にできることが両立支援の目標です。このやりとりは診療報酬で点数が取れます。今後意見書の書き方についても各病院にご説明出来ればと思っております。各病院の両立支援の活動状況を把握させて頂きたく、この度アンケートを各病院に1部ずつへ郵送させて頂きます。少しでも多くの方が、治療と仕事が普通にできる社会を目指して、今後ともお力添えのほど、よろしくお願い申し上げます。

(灘野部会長)

本来は、就労支援について地域相談支援フォーラムでも取り上げてみなさんと勉強したい内容でしたので、本日はよかったです。両立支援指導料の算定も改定されて、算定しやすくなっておりますので、せっかく相談を受けるのでしたら算定が取れる取り組みもしていただければと思いますのでその際にも産保センターを利用させていただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

4. その他

施設からの近況報告

- ・今年度ハローワーク出張就職相談を開始予定施設)

松山市民病院、住友別子病院、愛媛労災病院での予定について

(松山市民病院) 発言なし

(愛媛労災病院) 欠席

(住友別子病院 和田委員)

7月30日から開始予定で、週1回ハローワークから来てもらう予定で、実務者レベルで調整中です。少しでも就職に繋がったり、就労が継続できるように支援したいと思います。来年3月の出張相談については、新居浜市と共催で大きなイベントを計画中で、現時点では、前日に新居浜市のイベントが一つ予定されているため、出張相談会も開催できる見込みです。

(愛媛県立中央病院 季羽委員)

産保センターの福田さんにも来ていただき院内で産保センターの両立支援促進員(社会保険労務士)出張窓口を設置する方向で動いています。院内のワーキングで、検討中で、患者さんから希望があった際に予約制で来ていただく予定です。

(事務局 藤岡氏)

議事録作成後、メール配信しますのでご確認頂ければと思います。

(灘野部会長)

本日は、お陰様でスムーズに開催することができました有難うございました。

また、何かありましたらご連絡下さい。

中もお伝えしましたが、また警報が出ましたら、ML でまた投げかけることもあると思いますのでどうぞよろしく願いいたします。

議事録担当：四国がんセンター（次回は愛媛労災病院）

愛媛県がん診療連携協議会

A. 令和2年度第1回がん登録専門部会 議事録

日時：2020年7月21日（火） 13：30～14：30

開催方法：web開催

進行：寺本（四国がんセンター） 議事録：加藤久美子（松山市民病院）

1. 新しい担当者について

【四国がんセンター：寺本】

●四国がんセンター

濱田医師（感染症・腫瘍内科医長）を副部長に追加

●『施設プロフィールシート（仮）』作成について

➢提案することになった背景：

・がん診療連携協議会は、所属施設の院内がん登録実施状況の概略を把握する義務がある。

・施設の実務担当者、メーリングリスト、Moodleなどのメンバー管理をスムーズにしたい。

→実務担当者の施設間の情報共有・情報交換など自由に使えるように

・担当者交代の際に引継ぎの手助けに

・担当者や施設の状況を共有することで、専門部会での研修会等の活動の企画の参考に

・専門部会のメンバーや役割等が見えるように

➢運用方法：

・毎年4月から5月に各施設で記載し、事務局へ提出

・夏の専門部会までにメンバー間で共有？

・サマリー・問題点を総会・幹事会に報告

➢検討内容：

・公表の範囲は？（済生会今治病院 矢野）

→実務担当者で共有

・「メンバー登録状況の確認」に関しては、四国がんセンターで把握認定状況の記載あり、メンバーで共有するかは今後検討

2. データ利用審議会の報告

【愛媛県庁：清水】

愛媛県では2015年診断までは地域がん登録としてHP上で公表

2016年診断以降は全国がん登録として県として集計表の公表に向け準備中

3. 全国がん登録データ提出時期に関して

【愛媛県がん登録室：白岡】

●データ提出時期に関して

➢全国がん登録提出について

- ・2020年度の愛媛県における全国がん登録の提出期限は院内がん登録の提出期限と同じに

⇒国がんに愛媛県の状況を踏まえ確認したところ、提出の準備が整った施設は順次提出をしても問題ないとのこと

《院内がん登録提出期限（全国集計）・全国がん登録提出期限》

- ・がん診療連携拠点病院：8月11日～10月16日
- ・都道府県推薦病院・任意施設：8月11日～11月13日

4. がん登録研修会に関して

【愛媛県がん登録室：白岡】

【院内がん登録 研修会】

- 1) がん登録実務初級認定者研修
- 2) 院内がん登録実務中級認定者研修
- 3) 院内がん登録実務中級研修

⇒1～3すべての集合型研修を中止

⇒e-learning型研修の開催を予定。中級研修は6月29日から申込開始。

【院内がん登録 認定、更新試験】

- 1) がん登録実施初級認定者試験
 - ・各都道府県に会場を設置する
 - CBT試験を年内に開催予定
- 2) がん登録実務中級認定者試験
 - ・CBT試験に移行予定
 - ・6月29日から申込開始（11月試験実施予定）
- 3) がん登録実務初級認定者更新試験
院内がん登録実務中級認定者更新試験
 - ・CBT試験形式での開催を予定（昨年と同様）

【全国がん登録研修会に関して】

- ・今年度の研修会に関して愛媛県庁の担当者と協議した
- ・今年度は集合形式の研修会は開催しないと決定した
- ・例年の担当者を確認するアンケートと合わせて紙資料を配布する
→紙資料：QAや登録パターン例など
- ・現在、資料作成中。8月後半に送付予定
- ・来年度以降は未定

5. 「がんサポートサイトえひめ」の進捗 【四国がんセンター：寺本】
- 令和2年7月21日現在
 - 1. データ更新
 - ・ 2019年施設データ（病院を探す）→公開済み
 - ・ 院内がん登録データ2018年→今夏更新予定
 - ・ 子宮頸癌データ収集開始予定（今月）
 - 2. 臓器充実 Upcoming
 - ・ 子宮頸部→愛大・校正中
 - ・ 膀胱→日赤・依頼済み
 - ・ 前立腺→愛大・依頼済み
 - ・ 東予募集中
 - ⇒依頼文書作成予定
6. がん登録専門部会PDCAとPDCA部会の（6月26日）報告【四国がんセンター：寺本】
- 令和2年度第1回PDCA部会6月26日（金）18：30～19：30開催
 - がん登録部会のPDCA
 - ・ 各部会もPDCAをまわすことに
何らかの問題点に対してPlan Do Check Assessmentを行う
数値化される項目である必要はない
 - ・ PDCAを行う利点
選ばれた項目は“改善”されざるを得ない
 - ・ 院内がん登録体制調査
セキュリティ、院内がん登録委員会開催、教育体制など
 - 院内がん登録委員会 規定の開催、作成
 - ・ 委員会の立ち上げ、規定の作成等に関して今年度の全国がん登録提出終了後の
10,11月に勉強会を開催予定
→12月の報告会に間に合うように
→委員会という名称にこだわらず、大きな委員会の中の一部でも可
7. 院内がん登録研修会に関して 【四国がんセンター：西森】
- 今年度の研修会
 - ・ 前年度の愛媛大学医学部附属病院での研修・今年度の住友別子病院での研修は延期する。
 - ・ 四国がん開催の5大がん登録実務者研修会については検討中。
 - 認定・更新試験について
 - ・ 初級・中級認定更新試験について

- e-learning型研修の日程および試験日程について順次公開されている。
- 研修申込者は個人宛に届くお知らせを確認。

・試験対策について

- ① 2019年度の試験内容などのアンケートをまとめたものをMoodle内に公開中
四国がんセンター事務局よりお知らせ済み
Moodle>サイトホーム>院外対象：愛媛県_がん登録専門部会研修>
認定試験・更新試験の情報>2019年度
- ② 事前アンケートの結果日赤での研修会で作成した解説集についてMoodle内の
問題に追加する形で公開予定。日時は決定次第連絡。
⇒登録様式が変更になっているものは新しい登録様式に修正が必要
中級を今年または来年受講予定の方に協力を依頼
- ③ 現在までに公開されているプール問題についてMoodle内にすべて移行済み。
40問くらいのランダム試験をできるように調整中

⇒Web形式での情報交換を目的とした座談会のようなものを希望される方は7/29までに
事務局へ

→グループ分けはどうするのか？全員、初級・中級で分けるのか？（済生会今治病

院：矢野）

→検討予定（四国がんセンター：山下）

8. 冊子に関して

【四国がんセンター：大平】

愛媛県のがん登録データの活用がん登録集計冊子

『がん登録でみる愛媛県のがん診療』作成について

- 2018年症例冊子『がん登録でみる愛媛県のがん診療2020』の報告
 - ・施設別集計の冊子を2020年3月31日付けで刊行。
発行部数：250部
拠点・推進病院、院内がん登録関係者、各都道府県がん診療連携拠点病院へ配布。
 - ・愛媛県全体集計を公開準備中。
- 2019年症例冊子『がん登録でみる愛媛県のがん診療2021』の作成について
 - ・前年度同様、施設別冊子を作成する。仕様や部数も同様。
 - ・公表内容は前年度と同様、拠点推進の各施設の施設基本情報、施設長コメント、施設の全体集計に加えて、拠点病院は部位別の胃・大腸・肝・肺・乳房・前立腺・子宮頸部・子宮体部・血液腫瘍（公開する部位は施設ごとに任意）。
 - ・項目の集計方法について
 - ★部位別の病気分類
⇒全国集計の病気分類が肝は肝細胞癌・肝内胆管癌、肺は小細胞癌・非小細胞癌に分かれている。施設別集計でも件数が多い組織で、全国集計と比較しやすい

ように肝細胞癌、非小細胞癌のみで集計するのはどうか。①

年齢集計は以前の全国集計の定義のまま変更なし

★収集するデータについて

⇒前年度提供データで2016年まで固定。今年度は2017～2019年を収集するの
どうか。②

★2019年症例の全国集計結果（0年集計）の公開が2018年症例より遅れそうのため、
拠点病院の印刷用フォーマットに転記がおそらく間に合わない。

⇒印刷用フォーマット配布のタイミングに公表が間に合わなければ、2018年の全国
集計値でフォーマットを配布。その上で各施設での作業期間中に2019年集計値が
公表されれば各施設で全国集計の値を2019年に修正するのはどうか。（全国集計
値は事務局から配布して、各施設でデータの修正作業）③

★①～③は各施設で検討、後日意見をメールで送る

●予定スケジュール

・国がんへの提出締め切りの日に合わせる

●2013年5年予後付きデータの提出について

・例年同様実施

【報告①】 国がん・2012年単年集計における施設別集計の扱い・投票

【四国がんセンター：寺本】

院内がん登録生存率集計について

- 2011年までUICC-6th 12年からUICC-7thであるため、2011-2012年のデータに関しては、
例年のように2年まとめてステージ別の提示をすることが困難。
- 単年になるとStage別に提示できる施設が減るため、提示されない項目だらけになる
⇒都道府県協議会での投票の結果、2012年については施設別の集計は行わず、都道府県
別までを集計・公表することとなった。

B. 追加報告事項

1. **がん登録実務者のための五大がん登録講座 延期**
2. **施設プロフィール収集済み**
3. **相席食堂型 web e-learning 研修会 9月上旬に開催した**
4. **県内拠点・推進病院の施設別占有率を集計し、協議会内で共有する
(非公表)**

愛媛県連携協議会幹事会
2020/10/08@松山

「がんの集学的治療専門部会」活動報告

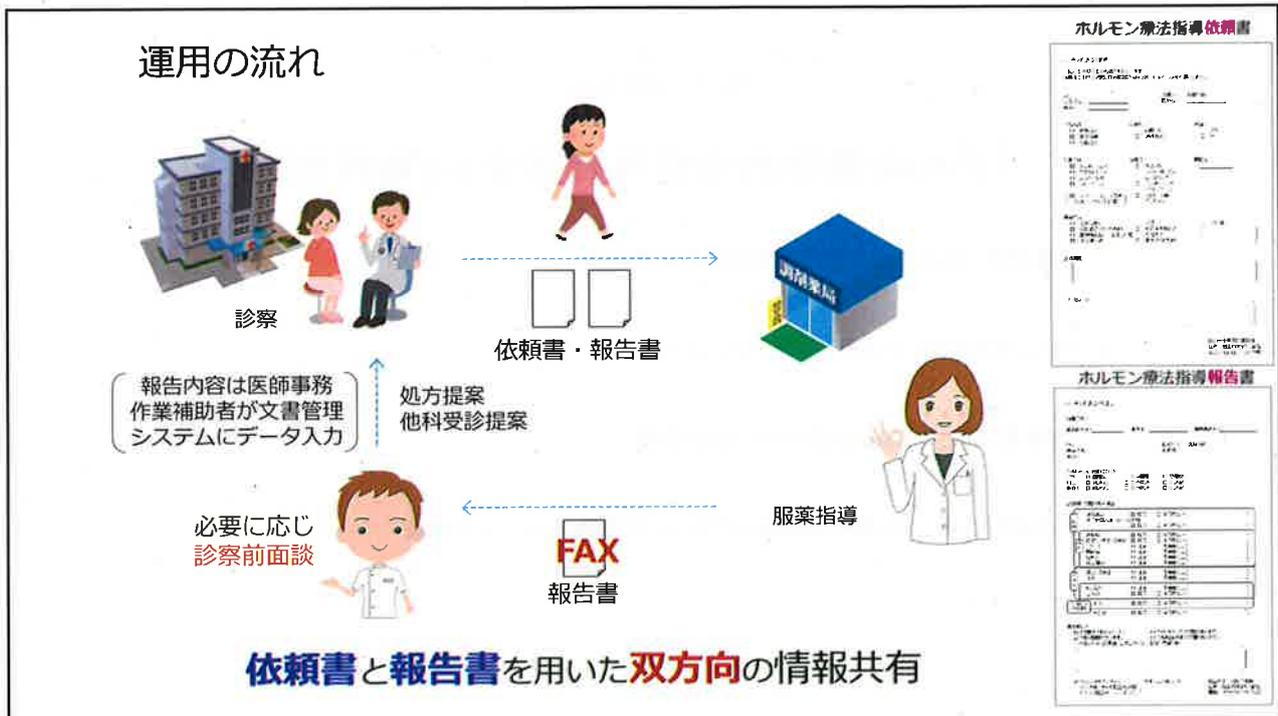
1. 薬薬連携、愛媛県がん診療連携協議会後援会議
2. ゲノム情報を用いたスクリーニングシステム
3. HD曝露対策、CSTDによるコアリングの調査
5. がん就労支援、AYA世代対応ネットワーク・妊孕性ネットワーク構築

1

薬薬連携の継続的発展

- 10年前に実態調査、今回再調査により状況の把握
- 薬薬連携システムの構築
- 教育、情報共有の推進：2020年5月に薬薬連携セミナー

2



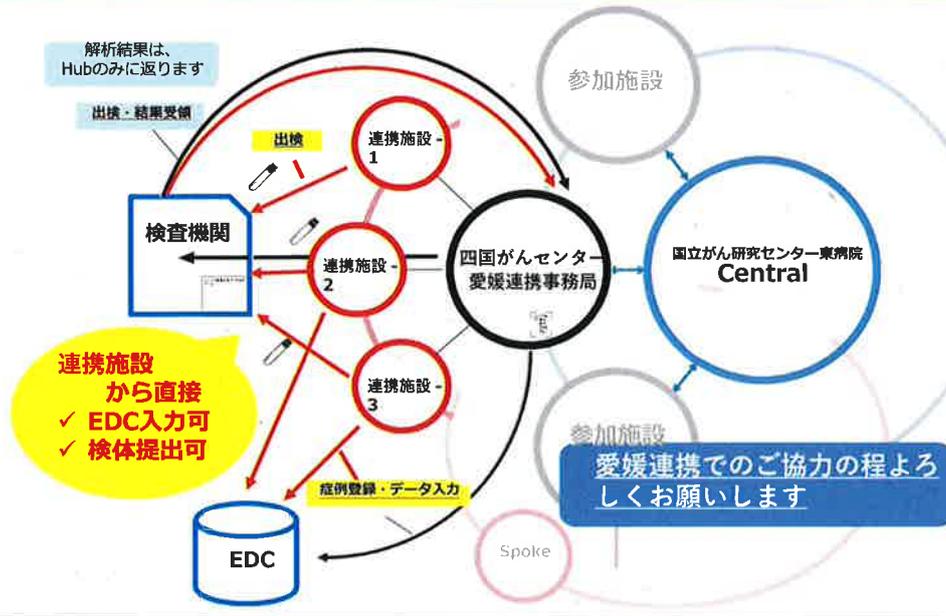
3

SCRUM JAPAN 愛媛連携

- SCRUM JAPANの現状
がん遺伝子パネル検査（組織）の保険承認に伴い、
リキッドバイオプシー（血液）によるスクリーニングを開始
- がん腫問わず、保険のパネル検査で変異がある症例を対象に
リキッドバイオプシー研究に参加可能。
- FGFR遺伝子異常、HER2遺伝子異常、TMB-H、MET遺伝子異常の
医師主導治験が進行中。
- 連携プロトコールが2019年12月に中央事務局で承認。
四国がんセンターでのプロトコール倫理審査準備中。
今後、愛媛の連携病院に相談。
(2020年2 - 3月頃)

4

SCRUM Japan Hub&Spokeについて



5

多施設共同抗がん薬曝露実態調査の展開

- 各施設において初回に比し2回目の調査において抗がん薬曝露実態の改善（閉鎖式薬物移送システム、個人防護具の導入等）が見られた。また各施設の曝露対策チームは、各病院の医療スタッフに対し抗がん薬曝露に関する情報提供を開始した
- 施設管理者にも曝露調査結果を示し、対策の実施に対する管理者側の理解も求めた。それと共に院内の抗がん薬曝露について、現状の認識を促すために情報開示した。
- 病棟における曝露調査も含めて3回目の調査を2019年秋に行った。継続的な曝露モニタリングに基づく対策確立を進めていく予定。

6

愛媛県AYA世代対応NW・妊孕性NWの 今後の展開

・ 県全体のシステム構築、情報共有、経験値の向上、
対応のブラッシュアップ(研鑽)、対応部署やできる事の明確化、
医療依頼のアクセス簡便化、
がんサバイバーシップ保持への援助

・ 課題克服

(AYA:就労支援、長期フォローアップ、妊孕性:より確実な方法)

・ 患者さんへの情報公開&アピール

9

つなごう！
AYAの医療と
支援の輪

第2回
**AYAがんの医療と
支援のあり方研究会
学術集会**

2020
3.20 (金・祝)・**21** (土)
名古屋国際会議場 白鳥ホール

www.aya-ken.jp

特定非営利活動法人
日本がん・生殖医療学会

特定非営利活動法人日本がん・生殖医療学会

設立の経緯

http://www.j-sfp.org/about/index.html

10

放射線科紹介システムの構築

- 放射線の診断、治療を地域で気軽に、もしくはスムーズに紹介できるシステムはできないものか。
- Quality?

11

11

令和2年度 愛媛県がん診療連携協議会

第1回がん看護専門部会

令和2年9月29日(火) 14:00～15:00

WEB会議：四国がんセンターから発信

議事次第

1. 開会

出席者紹介

部会長挨拶(四国がんセンター看護部長)

2. 議事

1) 幹事会及び役員会・専門部会報告(資料1.2)

2) 令和2年度研修計画について(資料3)

3) 次年度がん看護実践能力向上研修会について

4) その他

3. 閉会

◇添付資料

1. 専門部会レジメ

2. 名簿・出席表

3. R2.4.23 幹事会議事録(資料1)

4. R2.8.8 役員会・専門部会報告会資料(資料2)

5. 令和2年度研修計画(資料3)

(出席者一覧) 部会名簿

施設名		職位	氏名 (敬略)	代理出席者
四国がんセンター	拠点	看護部長	多田 清美	
市立宇和島病院	拠点	副院長兼看護部長	中橋 恵子	
住友別子病院	拠点	看護部長	守屋 昭子	
松山赤十字病院	拠点	看護部長	児島 二美子	欠
松山市民病院	推進	看護部長	三笠 照美	
済生会松山病院	推進	看護部長	東 良子	欠
HITO 病院	推進	副病院長	田淵 典子	
四国中央病院	推進	看護部長	毛利 美鈴	
愛媛労災病院	推進	看護部長	鈴木 美佐	欠
市立八幡浜病院	推進	看護部長	清水 美智子	
愛媛県立中央病院	拠点	看護部長	山本 格子	
済生会今治病院	拠点	看護部長	宮嶋 優里	
愛媛大学医学部付属病院	拠点	副院長兼看護部長	久保 幸	
済生会西条病院	推進	看護部長	大道美由紀	
十全総合病院	推進	看護部長	鎌倉 文子	
四国がんセンター		副看護部長	田邊 富江	
〃		看護師長	平田 久美	
〃		副看護師長	宮脇 聡子	

令和2年度 愛媛県がん診療連携協議会
第1回 がん看護専門部会 議事録

開催日時：令和2年9月29日（火）14：00～14：25

開催形式：WEB会議 四国がんセンターからの発信

司会進行：がん看護専門部会長 四国がんセンター看護部長 多田清美

出席者自己紹介（出席者一覧参照）

開会の挨拶（多田部会長）

本日は、お忙しい中ご参加いただきありがとうございます。

コロナウイルス感染拡大防止の観点から、WEBでの開催とさせて頂きました。今年度は、本部会で計画していた研修開催ができていないため、工夫をしながら実施したいと思っています。コロナ禍での新しい生活様式とともに、新しいスタイルで進めていきたいと思っております。本日は短い時間ではありますが、よろしく願いいたします。

議事内容

1) 幹事会及び役員会・専門部会報告（資料1.2）

- ・4/23（木）第1回幹事会で協議会活動年間スケジュールの提示がありました。

役員会は8/8（土）、幹事会は10/8（木）でWEB会議の予定（幹事会議事録参照）

- ・各部会からの活動報告の中で、がん看護専門部会からは31年度の活動報告と、がん看護実践能力向上研修の費用2万円から3万円への変更案を提示し、幹事会からの意見は特にありませんでしたので3万円を進めていきます。専門部会開催の研修については、コロナ禍での集合研修は困難ですが、何らかの方法で開催したいと部会としての意向を示しました。

- ・8/8（土）第1回役員会・各部門報告会が開催されました。

（当日の議事録の提示は未のため、当日のレジメとがん看護専門部会スライド資料参照）

協議会会長から、例年7月に東京で開催される都道府県がん診療連携協議会がコロナ禍で開催されないため、全国の状況及び緩和ケア研修会PEACEが延期になっているが、新しい形式で今後も活動を続けたいという挨拶がありました。

役員会の内容は

- （1）次年度スケジュール（WEB会議形式の予定）
- （2）ホームページの改定（11月より契約更新で業者が入れ替わる予定）
- （3）組織図について（活動を活発にするために意見を要望）
- （4）愛媛県からの連絡事項：第3期がん対策推進計画評価について、中期評価を3年ごとに実施しており9月を目途に案を作成し連絡する予定
- （5）各専門部会からの報告

がん看護専門部会からは、元年度研修報告及び昨年度のアンケート調査結果から計画していた研修計画をコロナの影響で中止したこと、ニーズの高かったテ

ーマをトピックス研修として「ターミナル期の口腔ケア」等の予定を報告しました。

- ・全体を通して、拠点病院の必要要件となっている市民公開講座は9月頃から開催できるのか、との質問あり、方法を思慮していくと結論でした。役員会の議事録が近日中にホームページに公開されるので確認をお願いいたします。

2) 令和2年度研修計画について (資料3)

- ・「がん看護実践能力向上研修」、トピックス研修の「高齢者のがん治療と看護」「認知症を持つがん罹患者の意思決定支援」は中止となりました。
- ・今年度追加した研修を可能な範囲で準備しています。

10/10:「ターミナル期の口腔ケア」WEB開催で準備中(9/30申し込み締め切り)

10/2:(共催)「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」の概要と臨床での活用 計画中(多数の申し込みあり)

2月(2日間):ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラムをWEBで準備中。

3) 次年度がん看護実践能力向上研修会について

- ・今後の研修のあり方を検討するにあたり2つの提案をします。

提案事項①:がん看護実践能力向上研修開催時には、ELNEC-J終了者は受講免除として、2020年度にはZOOMでの開催とする。

提案事項②:ZOOM開催が初となるため、受講案内は基本的のがん看護専門部会の病院および講師所属施設とし、各施設での集合研修とする。

ELNEC-Jを提供している日本緩和医療学会より、今年度からZOOMで開催してよいの通達あったが、関わるスタッフも不慣れなため今年度は縮小して開催したいと考えています。講師謝金は例年通り(がん看護専門部会の施設は謝金なし、がん看護専門部会以外の施設は謝金あり)とします。

- ・提案事項を審議にかけ①②ともに会員の賛同を得た。
- ・WEB環境が難しい施設はどうするのかの質問があり、原則は施設としネット環境が難しい場合は個別対応として考えることとした。

4) その他

- ・会員から、遠方からの参加は難しく不便さを感じていたので今日のような会議は時間的にもありがたいとの意見あった。
- ・次回定例会の日程:令和3年1月26日(火)14:00~WEB開催。

閉会の挨拶(多田部会長)

今回はWEBでの開催となりましたが、コロナ禍において新しい形態を模索しながら、部会としての役割が果たせるよう進めていきたいと思っております。今後ともご協力を頂いている会員の皆様よろしく願いいたします。短い時間ではありましたが、有意義な会議となり感謝いたします。

2020/9/29

令和2年度がん看護専門部会研修 がん看護実践能力向上研修会

研修名	期間	対象・募集人数	
がん看護実践能力向上研修会	R2.8.20-10.8	募集 14名	中止
フォローアップ研修	R2.11.12	R2年度受講者	中止
フォローアップ研修	R3.1.28	R2年度受講者、過去修了者	中止

トピックス研修

研修依頼	開催月日	募集人数	
高齢者のがん治療と看護	未定	未定	中止
認知症を持つがん罹患者の意思決定支援	未定	未定	中止
Web研修 ターミナル期の口腔ケア-誤嚥性肺炎を予防するために-	R2.10.10	100名程度	追加
(共催)「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」の概要と臨床での活用	R2.10.2	100名	追加
(共催) ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム	未定(2日間) 2月予定	30名程度	追加

スポット研修

ご要望等ありましたら、ご連絡ください。

1

ELNEC-J (2020年案)

提案事項①:

がん看護実践能力向上研修会開催時には、ELNEC-J修了者は受講免除。
2020年度については、ZOOMでの開催。

提案事項②:

ZOOM開催が初となるため、受講案内は基本的のがん看護専門部会の
病院および講師所属施設とし、各施設内での集合研修とする。



講師:

がん看護専門部会の施設 : 謝金なし
がん看護専門部会以外の施設: 謝金あり



ファシリテーター:

講師と兼任でも可能



参加者:

がん看護専門部会の施設のスタッフに限る

2

☆☆☆ 愛媛県緩和ケア研修会 PEACE のご案内 (案) ☆☆☆

2020年11月吉日

医師会員各位

愛媛県緩和ケア推進センター
愛媛県がん診療連携協議会

謹啓

平素より緩和ケアの普及推進にご尽力を賜り感謝申し上げます。

さて、令和3年度緩和ケア研修会 PEACE の開催についてご案内させていただきます。この研修会は、がん対策推進基本計画に基づくもので、受講修了者（医師）には厚生労働省健康局長名による修了証書が発行され、氏名が公表されます。「B001 22 がん性疼痛緩和指導管理料 200点」の算定には、本研修修了が要件とされています。

なお、開催指針の改正により、一昨年度から、e-learning による事前学習とロールプレイなどを実施する集合研修を組み合わせた形式で実施することとなりました。つきましては、研修会の開催日程を下記のとおりご案内いたしますので、受講予定の皆様には、e-learning の修了証書を添付のうえ、FAX 送信（本紙裏面）またはメールでお申し込みください（e-learning の受講方法については別紙1をご参照ください。）。

参加者は、院内スタッフに限定します。但し、四国がんセンターでは、県内の他のがん診療連携拠点病院のスタッフも対象とします。受講の際には御相談ください。

謹白

開催日程	申し込み期限	申込先（問い合わせ先）
2020年3月14日(土) ⇒2021年3月13日(土)	2020年1月17日(金) ⇒2021年1月22日(金)	四国がんセンター がん診療連携協議会事務局：武智 祥江 TEL：089-999-1111 FAX：089-999-1100 メール：519-tsupport@mail.hosp.go.jp
2020年4月12日(日) ⇒2021年4月10日(土)	2020年2月7日(金) ⇒2020年2月12日(金)	住友別子病院 がんセンター事務担当：横井 美由紀 TEL：0897-37-7111 FAX：0897-37-7121 メール：miyuki_yokoi@ni.sbh.gr.jp
2020年5月23日(土) ⇒2021年5月22日(土)	2020年3月19日(木) ⇒2021年3月19日(金)	済生会今治病院 総合医療支援室：川又 貴之 TEL：0898-47-2571 FAX：0898-47-2826 メール：chiren@imabari.saiseikai.or.jp
2020年6月27日(土) ⇒2021年6月26日(土)	2020年4月24日(金) ⇒2021年4月23日(金)	松山赤十字病院 がん診療推進室：大西 麻弓 TEL：089-926-9630 FAX：089-926-9614 メール：ganshinryo@matsuyama.jrc.or.jp
2020年7月4日(土) ⇒2021年7月3日(土)	2020年5月8日(金) ⇒2021年5月7日(金)	愛媛大学医学部 総務課企画・広報チーム：友澤 妙 TEL：089-960-5225 FAX：089-960-5131 メール：mekoho@stu.ehime-u.ac.jp
2020年8月2日(日) ⇒2021年8月7日(土)	2020年6月5日(金) ⇒2021年6月4日(金)	愛媛県立中央病院 事務局総務医事課：山本 浩三 TEL：089-947-1111 FAX：089-943-4136 メール：yamamoto-kouzou@pref.ehime.lg.jp
2020年8月22日(土) ⇒2021年8月21日(土)	2020年6月19日(金) ⇒2021年6月18日(金)	市立宇和島病院 医事課：井上 悌爾 TEL：0895-25-1111 FAX：0895-26-6560 メール：teiji@uwajima-mh.jp
フォローアップ研修会 2020年9月26日(土) ⇒2021年9月25日(土)	上記研修会修了者のためのフォローアップ研修会です。 2021年7月初旬に案内いたします。なおフォローアップ研修会は「がん性疼痛緩和指導管理料」算定には関係しません。	

- 詳しくは緩和医療学会 PEACE プロジェクト (<http://www.jspm-peace.jp/>) をご参照ください。

令和2年度 愛媛県がん診療連携協議会 専門部会報告会

◇ 日時・場所 ◇

令和2年12月5日(土)13時00分～14時30分(Web会議)

発信: 四国がんセンターカンファレンス室

◇ 議題 ◇

開会の挨拶

報告事項

- 1) PDCA 部会
- 2) がん地域連携専門部会
- 3) 緩和ケア専門部会
- 4) がん相談支援専門部会
- 5) がん登録専門部会
- 6) がんの集学的治療専門部会
- 7) がん看護専門部会

第2回専門部会の予定について

- 1) PDCA 部会 10/29 (木) 18時～19時30分 Web 会議
- 2) がん地域連携専門部会 日程調整中
- 3) 緩和ケア専門部会 10月中にコアメンバー会議を開催し、決定する
- 4) がん相談支援専門部会 11/26 (木) 15時～16時30分 Web 会議
- 5) がん登録専門部会 日程調整中
- 6) がんの集学的治療専門部会 日程調整中
- 7) がん看護専門部会 2021/1/26 (火) 14時～15時 Web 会議

令和2年8月吉日

全国がんセンター協議会
病院長 殿

公益財団法人がん研究振興財団
理事長 堀田 知光

がんに関する冊子のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より当財団の事業につきまして、格別のご理解・ご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、当財団は一般の方々にがんとその予防に関する正しい知識、情報を提供することを目的とした広報事業として冊子等を作成し、普及啓発に努めております。

今年度につきましては、①がんの特徴を踏まえた予防、早期発見、治療につなげるための検診について解説した『がん検診』、②がんの正しい知識の普及とがん予防の啓発についてまとめた『やさしいがんの知識』を作成致しました。

つきましては、上記冊子をご送付申し上げますので、ご活用いただければ幸いに存じます。

末筆になりますが、政府の「第3期がん対策基本計画」においても、科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実が全体目標として掲げられておりますので、ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

敬具

(同封冊子)

- ・がん検診
- ・やさしいがんの知識

※お問い合わせ先 公益財団法人 がん研究振興財団事務局
TEL 03-6228-7297 FAX 03-6228-7298
Email: info@fpcr.or.jp
ホームページ: <https://www.fpcr.or.jp/>

※愛媛県がん診療連携協議会事務局より各施設様に、2部ずつお送り致します。